

第七十三回帝國議會
衆議院

農業保險法案委員會會議錄(速記)第八回

付託議案
農業保險法案(政府提出)
臨時農村負債處理法案(政府提出)
農家世襲財產法案(林平馬君外二名提出)

會議

昭和十三年三月十八日(金曜日)午前十時二十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 村上 國吉君

理事土屋 寛君 理事長野 綱良君

理事坪山 德彌君 理事馬岡 次郎君

理事石坂 繁君

百瀬 渡君 村松 久義君

松浦周太郎君 伊藤 五郎君

山田 六郎君 長野 長廣君

吉植 庄亮君 小山田義孝君

曾和 義式君 加藤 知正君

國光 五郎君 伊東 岩男君

北 勝太郎君 山崎 銀二君

菊地養之輔君 中原 謹司君

小野 謙一君

三月十六日委員石井德久次君辭任ニ付其ノ補闕トシテ國光五郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

三月十六日農家世襲財產法案(林平馬君外二名提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席政府委員左ノ如シ

農林政務次官 高橋 守平君

農林省經濟更生部長 小平 權一君

農林書記官 重政 誠之君

農林書記官 寺田 省一君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ
農林省農事試驗場技師 安藤廣太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
農業保險法案(政府提出)

臨時農村負債處理法案(政府提出)

○村上委員長 開會致シマス、都合ニ依ッテ午前中ダケ休憩致シタイト存ジマス、午後

ハ一時カラ開會シマシテ、農業保險法案ノ中ニ於テ稻熱病ニ關スル問題ガ殘ッテ居ル

ノデスガ、安藤試驗場長ガ其説明ノ爲ニ御出席ニナルコトニナリマシタカラ、先ヅソ

レヲ濟マセテ、次ニ臨時農村負債處理法案ノ審議ニ入ルコトニ致シタイト考ヘマスカラ、ドウゾ其御積リデ御出席ヲ願ヒマス、

是デ休憩致シマス
午前十時三十分休憩
午後一時二十四分開議

○村上委員長 休憩前ニ引續キ是ヨリ會議

ヲ開キマス、本日ハ此委員會ニ併託ニナリマシタ臨時農村負債處理法案ニ付テ、其

審議ヲ進メル積リデアリマスルガ、ソレニ先ダッテ先日農業保險法案ニ付テ、稻熱病ノ

問題ニ關シテ長野君ヨリ質問ガアリマシテ、ソレニ對シテ政府ハ技術ノ専門家ヲシテソ

レニ答辯ヲスルヤウニ致シタイト云フコトデ、政府ノ方カラ御希望ガアリマシタノデ

先ヅ其説明ヲ聽ク爲ニ、農業保險法案ヲ議題ニ供スルコトニ致シタイト考ヘマス、ド

ウゾ其ヤウニ御諒承ヲ願ツタ置キマス、直チニ政府ノ説明員、農事試驗場長ノ安藤廣太

郎君ニ御説明ヲ願ヒマス……
○長野委員 議事進行ニ付テ一寸……

○村上委員長 今長野君カラ議事進行ニ付テ何カ御意見ガアルサウデゴザマスカラ、

ソレヲ承リマス
○長野委員 御高見ヲ承リマス前ニ、一應私ヨリ御質問ヲ申上ゲマシタ點ニ對スル其

御答辯ニ付キマシテ、私ノ氣持ヲ申上ゲテ御諒解ヲ得、サウシテ此御説明ニ對スル效果

ノ最モアルヤウニ希ヒタイト思フノデアリマス、ソレハ此一定ノ植物病ト云フモノノ

中ニ、稻熱病ヲ加ヘナイト云フノハ何故デ

アルカト云フノガ、私ノ質問ノ論點デアリマス、隨ヒマシテ其何故デアルカト云フコ

トニ付キマシテハ、政府ハ稻熱病ノ方ハ斷然豫防シ得ルモノデアアル、白葉枯、胡麻葉

枯ノ方ハ、風害雨害等ニ因ルモノデアアル爲ニ豫防ガ困難デアアル、斯ウ云フ御見解ニ付

テ、私カラノ再度ノ質問ニ對シマシテ、本日ノ御説明ト云フコトニナツタ譯デアリマス、

私ハ一代ノ碩學安藤先生ニ對シテハ、衷心ヨリ敬意ヲ表スル者デアリマス、又安藤先

生ノ學識ニ付キマシテハ、是亦私ハ敬意ヲ表スル者デアリマス、但シ本日政府ノ説明

員トセラレマシテ御出デニナリマシタ公人安藤先生ニ對シマシテハ——安藤廣太郎氏

ニ對シマシテハ、私ハヤハリ是レ日本ノ農民ヲ救フト云フ根本問題カラ、御尋ヲ致シテ

居ル次第デゴザイマスカラ、何卒私ノ御尋シテ居リマスコトニ對シテ、所謂學問ト云フ點

ダケノ御指導デナシニ、日本ノ稻熱病、全國ニ跨ッテ生ズル稻熱病、隨テ之ニ因ッテ被害ヲ

受ケテ居ル農村、苦ンデ居ル所ノ農民、此農民ヲ救フト云フ點ニ於キマシテ、此法案

ノ中ニ稻熱病ヲ一定ノ植物病トシテ入レルコトノ問題、即チ絕對ニ豫防シ得ルモノデ

アルカ否ヤ、又之ヲ入レズシテ置イテモ、果シテ農民ハ安ンジ得ルカ、斯ウ云フ意味ノ問題ニ付キマシテ、私ハ御答辯ヲ御願ヲシテ居ル譯デゴザイマス、尙ホ茲ニ非常ニ關係ガゴザイマスカラ、一言申上ゲテ置キタ

イト思ヒマスノハ、本問題ハ全國五百万農民ノ爲ニ、吾々ハ何物ヲモ犠牲ニシテ之ヲ入レナケレバナラヌト云フ信念ニ今立ッテ居ルノデアリマス、學問的ニ見マシテモ、亦實際ノ問題カラ致シマシテモ、サウ云フ信念ニ立ッテ居ルノデゴザイマスケレドモ、茲ニ政府ノ立場ニ於テ、御説明ニ來ラレタト云フ形ニ居ラレル先生トセラレマシテハ、必ズヤ其處ニ一抹ノ學者的見地ノミニ立チ得ザル所ノモノモ、自ラ出來テ來ルノデハナカラウカ、是ハ常識ト思ヒマス、昔荻生徂徠ハ、學者トシテ、儒者トシテハ私共モ認メマスケレドモ、遂ニ徳川ノ爲ニ、百姓ハ雞ノ如シ、雞ハ卵ヲ産ムガ故ニ愛スベシ、農民ハ――百姓ハ米ヲ作ルガ故ニ愛セザルベカラズト致シマシテ、之ガ爲ニ徳川以降ノ政治ハ、農民ノ爲ニ憂フベキ結果トナリ、私共ハ荻生徂徠ヲ曲學阿世ノ徒デアルト、斯ウ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、ドウゾ安藤説明員トセラレマシテハ、此私ガ要求ヲ致シテ居リマスル點ニ付キマシテ、全ク所

謂正義ト云フ立場ニ於ケルコトヲ十分ニ御念頭ニ置カレマシテ、御説明ヲ戴キタイト云フコトヲ申上ゲテ、以テ議事ノ進行ニ向ッテ私ノ御願ヲ陳述スル次第デアリマス

○安藤農事試験場技師 只今長野サンカラ

御話ガアリマシタ此稻熱病ハ、御話ニナリマシタ通りニ全國ノ稻ノ病害トシテハ、非常ニ重要ナ病氣ノ一ツデアリマシテ、之ヲ保險ニ入レルヤ否ヤ、ト云フ問題デ、私ガ御説明ニ參ッテデアリマス、元來保險ニアリマス一定ノ病害ト云フノハ、主トシテ今度ノ保險ノ目的ガ風水害、旱害等ノ、人力デ以テ容易ニソレヲ防グコトノ出來ナイモノガ、主ニナッテ居ルノデアリマシテ、一定ノ病害ハ、ソレニ伴ッテ來ル病害ヲ豫定サレテ居ルト思フノデアリマス、今御話ニナリマシタ白葉枯病ノ如キハ、是ハ無論其主ナル原因ハ「バクテリア」デアリマスケレドモ、葉ニ附イテ居リマシテモ、葉ガ傷ヲ受ケナイト、是ガ植物體ノ中ニ入ラスノデアリマシテ、ソレガ爲ニ普段附イテ居ッテモ害ハシマセスガ、暴風雨等ガアリマシテ、葉ガ非常ニ揉マレテ傷ヲ受ケタ時ニ、初メテ其「バクテリア」ガ植物ノ體內ニ入ッテ來ルノデアリマスカラ、其處ニ傷ガ出來ナケレバ揉マレテモ病氣ハ起ラナイ、原因ガ暴風雨ニ依ッテ葉ニ

傷ヲ受ケルト云フコトガ原因デアリマシテ、隨テ暴風雨ト是ハ離スコトガ出來ナイ、其爲ニ一緒ニサレタノデアリマスガ、今御話ニナリマシタ稻熱病ノ方ニナリマス、是ハ無論氣候ニ無關係デハナイノデアリマシテ、陰鬱ナ氣候ガ續キマス、其折ニ病氣ガ非常ニ傳播スルノデアリマス、隨テ或ル時期ニ於テハ非常ナ大發生ヲ見テ、可ナリ大イナル被害ヲ見ルコトガ從來アッタノデアリマス、併ナガラ稻熱病ノ發生ハ色々ナ原因ガアリマシテ、先ヅ植物自身ノ素質カラ申シマシタナラバ、肥料ノ施用、殊ニ窒素肥料ガ過多ノ場合デ、稻ガ少シ軟弱ニ出來テ居ルト云フヤウナ場合ガ、病氣ヲ起ス誘因ノ一ツニナルノデアリマス、サウシテソレ等ノ病氣ヲ起シマスル原因ハ、ヤハリ一種ノ微ノ種類ニ依ッテ起ルノデアリマス、此微ノ種ト申シマスガ、吾々學問的ニハ孢子ト申シテ居リマスガ、其微ノ種ガ既ニ前年其病氣ニ罹ッタ葉デモアレバ、ソレカラ發生シテ出テ來ルノデアリマシテ、簡單ニ申シマスレバ、空氣傳染ヲスルト言ウテモ宜イト思フノデアリマス、是ハ陰鬱ナ天氣デ、稻ノ葉ガ雨ナド降りマシテ濕ッテ居ル、又溫度ガ適當ナ溫度ヲ與ヘラレルト云フト、是ガ直

グ盛シニ發生シテ、稻ノ體ノ中ニ入ッテ行ク

ノデアリマス、是ハ苗代時代ニ起ルコトモアリマスシ、又本田ニ移植後ニモ起リマスルガ、最モ迅速ニ影響ヲ及ボスノハ出穂ノ際ニ、穗首ノヤウナ處ニソレガ繁殖シマシテ、傳播スルノデアリマス、是ガ豫防法トシマシテハ、先刻ノ自葉枯病デアリマス、暴風雨ニ因ッテ葉ガ擦レテ傷ヲ受ケレバ、其處ニ病菌ガ直グ入ルノデアリマス、稻熱病ニ於キマシテハ大分狀態ガ違フノデアリマス、苗代ニ發生シマシタ時分ニ於キマシテモ、發生シタモノヲ見付ケレバ、ソレヲ直グ取り、サウシテ「ボルドー」液ヲ撒布スレバ、是ハ豫防ノ目的ヲ達スルコトガ出來マスルシ、本田ニ於キマシテモ出穂前、或ハ成育ノ盛シナ折デアリマスレバ、是ガ發生ヲ見マシタ時分ニ、其葉ヲ取ルガ、或ハ極端ナ場合ヲ申シマス、葉ノ上ノ部分ヲ刈取ッテ、サウシテ焼却スルカ、又ハ同時ニ「ボルドー」液ノ撒布ニ依ッテ、豫防スルコトガ出來ル、出穂前後ニ於キマシテハ、ヤハリ「ボルドー」液ノ撒布ニ依ッテ、之ヲ豫防スルコトガ出來ルノデアリマス、殊ニ注意ヲシナケレバナラスノハ、稻熱病ノ病菌ハ稻熱病ニ罹リマシタ親種ニモ附イテ居リマス、ソレデ今年稻熱病ガ多少アリマスレバ、翌年其親種ハ一應能ク消毒スルモ、是モ面倒

ナ方法デハナイノデアリマシテ、穀種ヲ一日カ二日水ノ中ニ漬ケタ後ニ、更ニ「ホルマリシ」ノ二%位ノ溶液ニ三時間位漬ケテ置ケバ、完全ニ稻熱病ヲ殺スコトガ出來ル、サウシテ再ビ水洗シテ時ケバ宜イノデアリマス、又同時ニ前年病氣ニ罹ッタ稻藁ノ處理ヲ、良クスルコトガ大事デアリマス、此藁ヲ田ノ畔ニ積ンデ置クトカ、其藁ヲ肥ニ使ヒマスレバ、是等ガスツカリ水ノ中ニ漬ッテ居レバ、微ノ種ハ空氣中デ生棲スルモノデアルカラ、死ンデシマフケレドモ、水ノ上ニ浮イテ居ルトカ、田ノ畔ニ落チテ居レバ、ソレカラ病菌ガ傳播スルノデアリマスカラ、病氣ニ罹ッタ稻藁ヲ、絶對田ノ畔ニ積ムトカ、或ハ其儘肥料ニスルト云フヤウナコトヲシナイヤウニスルコトガ、極メテ大事デアリマス、又之ヲ堆肥ニ積ンデ十分腐熟サセマスレバ、相當ノ熱ヲ生ジマスノデ、病菌ハ死ニマス、何レニシマシテモ其儘藁ヲ使用シナイコトガ大事デアリマス、是等ノ注意ヲシ、先刻申シマシタ「ボルドー」液ノ撒布、又病斑ハ容易ニ見付ケ易イモノデアルカラ、其病氣ニ罹ッタモノヲ取去ルコトニ於テ、豫防ガ出來ルノデアリマシテ、是ハ學問的ニハモウ餘程以前カラ其結果ガ出テ居リマスシ、又實際ニ是ガ實行ヲ致シマ

シタノハ、既ニ昭和十年ニ於テ北海道ニ於テモ、顯著ナ成績ヲ擧ゲテ居リマス、又小規模デアリマスガ、長野縣ノ一部落ニ於テモ同様ナ顯著ナ成績ヲ擧ゲテ居ルノデアリマス、豫防ハ之ヲ部落毎ニヤリマスレバ相當效果ヲ擧ゲルコトガ出來ル、又農家デハ容易ニ出來ルモノト私ハ堅ク信ジテ居ルノデアリマス、元來斯ウ云フ豫防ノ出來ルモノハ成タケ保險ノ目的物ニシナイト云フコトガ、私個人トシテ考ヘマシテモ宜イノデアリナイカと思フノデアリマス、サウ致シマセスト、保險デ其損害ヲ補償サレル爲ニ、其豫防驅除ノ仕事ヲシナイト云フヤウナコトガ萬一アリマシタナラバ、是ハ單ニ其人ノ損失ノミナラズ、他ニ相當迷惑ヲ與ヘルコトデアリマスカラ、其點ヲ考ヘマシテモ、斯ウ云フ豫防ノ出來ルモノヲ直チニ保險ノ目的物ニスルコトハ、或ハ良クナイコトヂヤナイカト、私個人ハ思ッテ居ルノデアリマス、ノミナラズ此稻熱病ニ於キマシテハ、吾々ノ試驗場ニ於キマシテモ、近來盛ニ施行シテ居リマスル稻ノ品種改良ニ於キマシテモ、是ハ種類ニ依ッテ非常ニ稻熱病ニ對スル強弱ガアリマシテ、例ヘバ東北地方ニ於テ非常ニ成績ガ好クテ收穫ガ多クテ、山形縣ノ農家ニ依ッテ育成サレマシタ龜ノ尾ト云

フ種類ガ東北地方ニ非常ニ多ク作ラレタノデアリマス、是ハ品質モ良シ、收穫モアツテ良イノデアアルガ、稻熱ニ非常ニ弱イノデ、少シ古イ話デアリマスガ、明治四十三年ノ青森縣ノ減收ハ、稻熱病ニ罹ッタ爲ニ大キナ減收ヲ來シテ居ルノデアリマス、サウ云フ事實ガアリマスカラ品種改良ノ仕事ヲシマス上ニ於キマシテモ、此稻熱病ニ強イカ弱イカト云フコトヲ、吾々ガ育成致シマシタ品種ニ付キマシテハ、始終試驗ヲシテ居ルノデアリマス、其試驗ノ方法ノ細カイ事ハ申上ゲル要モナイノデアリマスガ、是ハヤハリ人工デ稻熱病ノ病菌ヲ培養致シマシテ、サウシテ菌ノ時代、或ハ移植シタ時代ニ、之ヲ稻ニ吹掛ケマシテ、サウシテ相當濕リノアルヤウニシテ日ニ當テナイデ、暗室ト云フト少シ大キイノデアリマスガ、大キナ箱デ蓋ヲシテシマツテ一週間モ置キマスレバ、ドノ品種ガ病菌ニ強イカ弱イカト云フコトガ分ルノデアリマス、ソナ風ノヤリ方ヲ致シマシテ、此品種ノ改良ノ上ニ於テモ、出來ルダケ稻熱病ニ強イモノヲ作ルコトニ心掛ケテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ方面デ前ニ申シタ豫防ノ方法ヲヤッテ參リマスルナラバ、是ハ豫防ノ出來ルモノダト私ハ固ク信ジテ居リマス、且ツ

豫防ノ出來ルモノデアレバ、之ヲ保險ノ對象ノ事柄トスルト云フコトハ、良クナイヂヤナイカト云フ風ニ、私ハ存ズルノデアリマス、農林省ノ保險ノ一定ノ植物ノ中ニ入ラナイノモ、全ク此理由ニ外ナラヌト存ズル次第デアリマス、大要申上ゲマス

○長野(長)委員 稻熱病ニ對スル御説明ニ付キマシテハ、有難ク拜聽ヲ致シタノデゴザイマスルガ、只今ノ御説明ニ基キマシテ、之ヲ入レナカッタト云フ理由ノ關係ニ付テ、一二御尋ヲ申上ゲテ見タイと思ヒマス、ソレハ只今ノ御話ニ依リマスルト云フト、暴風ノ際ニ傷イタ爲ニト、斯ウ云フ御話デアリマス、所ガ此稻熱病ノ方ニ付テ見マスト、暴風ノ際ニアノ暴風ノ本タル低氣壓ノ進行ノ前後ニ蟲ガ付イテ居ルガ、是ハ南ハ九州、四國、北ハ北海道ニ至ル迄起ッテ來ルノデアリマス、只今御説明ニナツタ鬱蒸ト云フコトガ、誘因トシテ重要ナモノデアアル、ソコデ暴風ガ幾十回トナク襲來ヲ致シマス其前ニ起ッテ來ル鬱蒸、ソレカラ其低氣壓ノ兩側ニ起ッテ來ル鬱蒸、ソレカラ低氣壓ノ進行ノ後ニ殘ル所ノ無風狀態、斯ウ云フヤウナ機會ハ、只今御説明ニナリマシタ稻熱病ノ主要ナ原因デハナイカ、又是ガ何千町歩ト傳播ヲスル主要ナ原因デアアルノデアリマス、只

今ノ御説明ハ白葉枯ハ専ラ風ニ依ッテ傷ガ付ク、其傷口カラ入ルト云フコトデアリマスガ、勿論此白葉枯ノ病原菌ト云フモノハ、寒天培養菌ニシタモノヲ葉ニ摺込シデモ、直グ傳染スル性質ヲ持ッテ居リマスカラ、ソレハサウデアリマセウ、併シソレトモ暴風ノ際デゴザイマスカラ、胞子ハ風ニ依ッテ飛バサレテ行クノデアリマスカラ、一面ニ是ガ擴ルノデアリマス、稻熱病ノ場合ニ於テハ、其暴風ノ當時附纏ッテ居ル所ノ低氣壓ニ依ッテ、サウシテ無風狀態ニアル鬱蒸ノ氣候ト濕潤ノ氣象ニ依リマシテ、起ッテ來ルノデアリマス、ソコデ私ハ稻熱病ト云フモノハ白葉枯ト相共ニ暴風ノ關係、暴風ニ伴フ低氣壓、若クハ暴風ニ伴フ所ノ物理的摩擦、此事ニ因ッテ起ル、其意味ニ於テ颱風其他疾風以上ノ暴風ト同一的デアル、斯ウ云フ風ニ見ナケレバナラスト思フノデアリマス、勿論是ハ科學上ニ於テモ、サウ見ナケレバナラスト存ズルノデアリマス、之ニ付テハ如何ナル御見解デセウカ、伺ヒタイト思ヒマス

○安藤農事試驗場技師 只今稻熱病ニ付テ、白葉枯ト同ジヤウニ傷ガ付イタ場合ニ、此處カラ入ッテ來ルト云フ御話デアッタ、暴風ノ前後ニ於テ陰鬱ナ天候ガ續ク、是ガ誘因

ダト云フヤウナ御話ガアリマシタ、無論最初ニ申上ゲタヤウニ、病氣ノミナラズ害虫ノ發生ニ致シマシテモ、氣象條件ト密接ナ關係ノアルコトハ申ス迄モナイコトデアリマス、暴風ノ前ニ或ハ後ニ於ケル所ノ陰鬱ナル天候ト云フモノハ、誘因ノ一ツニナルト云フコトハ考ヘ得ラレルト思ヒマス、併ナガラ稻熱病ニ付テハソレバカリデハナイ、ソレハ唯一ノ誘因デナクシテ、其外ニモ幾ツモアリマス、暴風デナクテモ陰鬱ナ天候ガ續ケバ誘因ニナリマス、稻ノ白葉枯ハ暴風ガ唯一ノ原因デアルノデスガ、稻熱病ハサウデハナイノデアリマス、サウシテ稻熱病菌ガ植物體ニ入ッテ行ク狀況ハ、御話ノ通り傷ガ付イテ、其處カラ入ッテ行クト云フコトハ有り得ルト思ヒマスガ、多クノ場合ニ於キマシテハ是ガ作物ノ體ニ入リマスニハ、作物ノ表面ニ細胞ガアリマス、其細胞ノ兩方ガ繋ガッテ居ル間隙カラ菌絲ガ、或ハ根ト申シマスガ、植物學デハ根デハアリマセヌケレドモ、菌絲ガ出マシテ、ソレガ細胞ノ竝ンデ居ル間ノ所カラ入ッテ行ッテ、繁殖スル場合ガ多イノデス、傷ノ所カラハ入ラナイトハ私ハ申シマセヌガ、是ハ暴風デナクテモ色々ナ事情デ入ッテ來ル、白葉枯ハ暴風ニ因ッテ誘因サレル、殆ド暴風ト不可分ノ

狀態ニアルノトハ非常ニ狀況ガ違フノデアリマス、暴風ノ場合ニ於テモ稻熱病ガ起ル、サウ云フ多數ノ條件ノ一ツデアルト云フコトハ、考ヘラレルカモ知レマセヌガ、ソレガ唯一ノ狀態デアルトカ、決シテ暴風ト不可分ノモノトハ考ヘラレナイト思ヒマス、多クノ場合ニ於テハ暴風ヨリモ、氣象狀態ノ變調カラ來ル陰鬱ナル天候ニ因ルノデ、暴風ニ關係ナイ場合ガ多イヤウニ考ヘラレルノデアリマス

○長野(長)委員 只今申上ゲタコトガ一寸私ノ話シ方ガ不徹底デアッタカ知レマセヌガ、一ツ誤解ガアル、詰リ白葉枯ノ方ハ暴風ノ爲ニ摩擦等ニ因ッテ起ル、傷カラ入ルト云フコトハ、アノ病原菌ヲ寒天培養ニシタモノヲ摺込シデモ、白葉枯ハウツテ行ク、斯ウ云フ意味ニ於テ前ノ御説明ヲ私ハ肯定シタ、サウ云フ風ニシテ一方ハ暴風ト云フ物理的關係ニ因ッテ起ルモノデアル、稻熱病ノ方ハドウカト云フト、是ハ暴風ニ伴フ無風狀態、鬱蒸ト云フモノガ主ニナッテ入ッテ來ル、勿論アノ微菌ハ氣孔カラ入ルノデアリマス、主トシテ氣孔カラ入ッテ來ル、ソレハサウデスケレドモ、兎ニ角暴風ニ伴フモノカラ入ッテ來ル、斯ウ云フ意味カラ考ヘマシテ、暴風ト稻熱病ト絕對ニ縁

ガナイト云フ風ニ言フ譯ニハイカナイ、斯ウ云フ意味ノ説明トシテ申上ゲルノデアリマス、所ガ今一ツノ暴風ガ今ニ起ッテ來ルト云フ前ノ鬱蒸、濕氣、濕潤、斯ウ云フコトモ原因デアルト仰セラレルノデアリマスガ、勿論サウデゴザイマス、所ガ茲ガ此菌ト重大ナ關係ガアルノデス、暴風デアラウガ、暴風ト懸離レタ鬱蒸デアラウガ、低氣壓デアラウガ、何レニシテモ氣象ニ因ッテ損害ヲ受ケル、不可抗力カラ損害ヲ受ケル點ニ於テハ、誘因ト云フ點ニ於テハ、私ハ白葉枯モ稻熱病モ同一ト見ナケレバナラスト思ヒマス、其被害ノ起ル原因ガ洪水デアラウト、低氣壓デアラウト、鬱蒸デアラウト、又空氣ノ動搖ニ因ル風デアラウト、兎ニ角氣象狀態ノ變則ナル狀態ト仰セラレタ、ソレト同一程度デアルト云フコトニ於テハ、否ムコトハ出來ナイ、ソコデ氣象ト云フモノガ吾々ガ全部防ギ得ルモノナラバ、保險問題ハ殆ドナイノデアリマス、ケレドモ之ヲ吾々ガ未然ニ防ギ得ナイト云フ所ニ、白枯ノ保險ノ必要ガ起ッテ來ル、稻熱病ノ保險ノ必要ガ起ッテ來ルト思ヒマス、只今ノ御説明ハ其儘私共ノ主張ニ裏書ヲ戴イタノデ、鬱蒸ノ爲ニ非常ナ勢ヒヲ以テ傳播スル、デアルカラ、稻熱病ハ當然人力ノ及バナイ範

圍ガ非常ニ大デアルカラ、是ハ保險ノ範圍
内ニ入ラナケレバナラスト云フ理窟ニ
ナッテ來ルト思フノデアリマス、要スルニ保
險ト云フコトハ、一定ノ物理現象、即チ氣
象ニ關聯シタ所ノ問題デアルカラ、言ヒ
換ヘタナラバ、人力ノ容易ニ防ギ得ナイ、
豫防シ得ナイモノデアルナラバ、是ハ認メ
ナケレバナラス、ソコデ只今ノ博士ノ御説
明ハ、稻熱病ノ方ハ鬱蒸ガ主デアル、斯ウ
仰セラレ、鬱蒸即チ氣象的ノモノデアリ
所謂天候デアル、大部分人力ノ如何トモス
ルコトガ出來ナイモノデアルカラ、此原因
ニ因ッテ起ル病氣、白葉枯ト同様ニスベキモ
ノデアル、況ヤ其原因ハ半分位ハ只今ノ暴
風ニ伴フ低氣壓ト云フ現象ニ因ッテ起ッテ來
ルモノナルガ故ニ、此點十分ニ考慮スル必
要ガアルト思フノデアリマス、更ニ此點ヲ
モウ一回伺ヒタイ、次ニ今一ツハ新シイ問
題デアリマスガ、只今ノ稻熱病ハ肥料其他
ニ於テ注意スルガ宜シイ、斯ウ云フコトデ
ゴザイマス、然ルニ白葉枯ハ申ス迄モナク、
窒素肥料ノ過多ヲ防ガナケレバナラスト云
フコトハ、化學上ノ寧ロ常識ニナッテ居ル
コトハ、私ガ申上ゲル迄モナイコトデアリ
マス、窒素肥料ヲ節約スル一面ニ於テ、胡麻
葉枯ノ方ハ、陸稻等ニ起ルノデアリマスカ

ラ、是ハ旱魃トカ、或ハ是ハ却テ綠肥堆肥ヲ
多ク施スコトニ依ッテ、防グコトガ出來ル、
土地ガ瘦セテ來タ爲ニ病ガ起ッテ來ル、是ガ
胡麻葉枯ノ誘因ニナッテ居ルコトハ申ス迄
モナイ、又胡麻葉枯ノ原因ノ中ニハ灌水ノ
問題ガアル、白葉枯モ其通りデスガ、冷イ
水ヲ灌ガナイト云フコトモ、是亦帝國大學
初メ各方面ノ發表ニ依ッテ明ナル所デアリ
マス、又「ボルドー」液ノ話ガアリマシタ
ガ、白葉枯ノ場合ニ於テモ、ヤハリ「ボル
ドー」液ヲ灌グベシト云フコトハ、是亦農
學上ノ常識デアリ、現ニ心アル者ハ實際ニ
實行致シテ居ル所デアリマス、今一ツハ申
ス迄モナク稻熱病ハ、主トシテ葉ニ著イテ
越年ヲスルノデアリマシテ、胡麻葉枯及ビ
白葉枯、殊ニ胡麻葉枯ノ如キハ、其星ハ粃
ニ著イテ越年スル、故ニ粃ヲ十分消毒シナ
ケレバナラストコトハ、今日ヤカマシク言ッテ
居ル所デ、是亦常識的化學ニナッテ居リマ
ス、葉ニ著イテ微菌ガ越年スルカラ、是亦
十分ニ處理ヲシナケレバナラストシ、又現ニ
ヤッテ居ルコトデアリマス、デ私ハ現ニ此農
作物ニ付テハ、二十年ニ近イ體驗ヲ持ッテ
居ル、自ラ先頭ニ立ッテ農業經營ニ當ッテ
居ル者デス、公職ニ在ル時ト公職ニ在ラザ
ル時ト問ハズ、私ハ三十年來體驗ヲ持ッテ

居ル、其私共ガ體驗ヲシ、一面試驗場デ指
導シテ居ル所ヲ見マシテモ、白葉枯及ビ胡
麻葉枯ニ付テハ、稻熱病ト殆ド同様ノ似寄ッ
タ處置ヲ致シテ居ル、又越年ヲ防グ點ニ付
テハ、粃ノ處理、葉ノ處理、是ハ現實ノ傳播
ヲ防グ意味ニ於テ「ボルドー」液ヲヤル、是
等ノ意味ニ於テ博士ガ今マデ御説明ニナラ
レマシタ「ボルドー」液、其他豫防氣象ニ關
スル手續ガ、稻熱病ノ方ハ違フカラ、之ヲヤ
レバ完全ニ行クモノダト仰シヤルコトハ、
直チニ承服スルコトガ出來ヌヤウニ思フノ
デアリマス、殊ニ實際問題ニ入ッテ來タ時
ニ於テ、博士ノ只今ノ御説明ニ付テハ、多
大ノ考慮ヲ要スル點ガアリハセヌカト斯ウ
考ヘマス、ソレハ家ニ付キマシテ火災保險
ト云フモノガアル、何人モ火災ノ起ラナイ
ヤウニト云フコトヲ憂慮スル餘リ注意致シ
マス、ケレドモ失火ト云フコトガアリマス、
又只今仰セラレマシタヤウニ、農民ト云フ
モノハ一ツノ罪惡ノ塊リノ者ガ多イト云フ
ヤウナ觀念カラ、道德ノ危險率ト云フコト
ヲ非常ニ喧マシク申シマスナラバ、此火災
ニ付テモ殊更放火ヲスル犯罪人モアルノデ
アリマス、ソコデ問題ハ此處ニ入ッテ來ル、
或ル一人ノ不徳漢ガアッテ、火災ヲ起シタト
云フコトハ、ソレガ一軒デアレバ保險料ヲ

拂ッテシマヘバソレデ済ムノデアル、所ガ其
火ガ忽チ燃エ上リ幾千軒ヲ燒盡シタ場合ニ
於テドウナルカ、故意ニ火ハ放ケナイデモ、
災害ノ起ッタモノニ付テ見レバ、茲ニ火災保
險ト云フ問題ガアル、稻熱病ノ問題ニ付キ
マシテモ、一面ニ於テハ稻熱病ノ豫防ニ付
テゾンザイナ者ガアッテ、殊更ニ道德的犯
罪ヲ犯ス者ガアル、斯ウ云フヤリ方ヲスル
者ガアルト思フト、一面ニ於テ絕對ニ豫防
嚴重デ、少シモ心配ハ要ラス、斯ウ云フヤ
ウニ兩翼的ニ理窟ガ付イテ居ルヤウニ思ヒ
マス、ケレドモ私ハ假令理想的ニヤラシタ
ト思フテモ、中ニハ十分デナイ、ソコニ豫防
ノ徹底シナイ所ガアル、ソコヘ持ッテ行ッテ鬱
蒸ガアル、サウスルトソコラニ忽チノ間ニ
傳播ヲ致シマス、肥料其他ノ關係カラ、忽
チノ間ニ全田面ニ向ッテ擴ガッテ行クト云フ
コトハ、恰モ一戸ノ失火ト云フ不用意ナ者
ガアル爲ニ、火事ガ其一戸ヲ燒クノミナラズ
他ニ類焼スルト同ジヤウニ、農家ノ技術ト
云フモノハ神様デハゴザイマセヌカラ、サ
ウ完全ニハ行カヌ、必ズ何處カニ缺陷ガア
ル、理想的ニヤッテモ十分ニ能力ノ徹底シ
ナイ場合ガアル、ソコヘ持ッテ來テ只今申
シマシタ氣象的災害ガ起ッテ來ル、サウスル
ト稻熱病ト雖モ傳播スルニ違ヒナイ、此病

菌ガ忽チニシテ大面積ニ傳播スルト云フ能カノアルコトハ、或ル意味ニ於テハ火事以上デアリマス、斯ウ云フヤウニ考ヘテ見マスト、只今學者の見地カラ述ベラレタコトハ、或ル徹底シタル場合ヲ御考ヘニナリ、又一部分ニ起ッテソレガ傳播スルト云フコトヲ想定シナイ場合ニ於テハ、極メテ純理的ナ一面デゴザイマシテ、實際ノ問題カラシタナラバ、決シテ私ハ安心出來ルモノデナイト思ヒマス、憂慮スベキ病害ノアルモノト考ヘマス、是ガ私ノ質問ノ第二デアリマス、ソレカラ第三ニ起リマスルコトハ、山間等ニ於ケル稗稻熱ト云フモノガアル、ソレカラ水口稻熱ト云フモノガアル、場所ガ稻熱病ニ罹ッテ來ル、是ハ恐ラク今日デハ容易ニ防ギ得ナイモノデアリマス、サウ云フモノガ發生シテ居ル所ヘ持ッテ來テ、或ハ暴風雨ニ伴ウテ低氣壓ガ來ル、其他單獨ニ低氣壓ガ來ル、サウ云フ場合ニハ其他ノ條件ト相伴ウテ全面的ニ擴ガルト云フコトハ、是ハ言フ迄モナイノデアリマス、是レ私ガ特ニサウ云フ點カラ考ヘテ見ルト、稻熱病ヲ防ギ得ルモノデアルト云フ御意見ハ、極メテ危險ナモノデアルト考ヘルノデアリマス

今日ノ農業ハ申ス迄モナク高度ニ發展ヲシマシテ、稻ダケヲ作ルト云フノデアリマセヌ、東北ナドハ稍、例外デアリマスケレドモ、モウ是カラ西、南ニ行キマスルト、一年ニ數回水田ト云フモノヲ作ル、隨ヒマシテ蔬菜園藝ナドヲヤル時ニ於テハ、相當多額ノ肥料ヲ要スルノデアリマス、又農業ノ經濟化ニ伴ヒマシテ、紫雲英ヲ作り、青刈大豆、ザートウイッケンヲ作り、色々ノ窒素肥料ノ作物ヲ作ルノデアリマス、隨ヒマシテ、上地ガ意外ニ窒素肥料ノ蓄積ヲ見テ居リマシテ、之ニ澤山ナ雨ガ降ルトカ、或ハ鬱蒸ノ天候ガ來ルト云フコトニナリマスルト、自ラ農家ハ肥料ヲ入レナイノダケレドモ、土地ノ前作物ノ殘シテ居タモノノ爲ニ、相當ニ窒素肥料ノ殘リガアルト云フコトガ、原因ニナルト云フコトモアルノデアリマス、斯ウ云フ場合ヲ吾々ハ否定スルコトハ出來ナイノデアリマス、申ス迄モナク、是ハ釋迦ニ説法デゴザイマスケレドモ、順序上申サナケレバナリマセヌケレドモ、我國ノ農業ト云フモノハ、高度ニ經濟化シナケレバナラヌモノデアル、ソレカ若クハ農民ノ從來ノヤウナ、極メテ粗笨ナ農業ニ於テ經營シテ行クカ、若クハ徹底的ニ之ヲ高度化シテ、肥料ノ如キモノモウントヤル、恰モ工

場ニ於ケル工業經營ノ如ク、集約的ニ進マナケレバナラヌ場合ガ、今後益々其度ガ強マツテ來ルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ蔬菜類ヲ作ル時ニハ——水瓜或ハ白菜ヲ作ルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、相當ノ窒素肥料ヲヤラナケレバナラス、隨ヒマシテ相當ニ窒素肥料ノ過剰ヨリ至ル弊害ノ危險ガ多イノデアリマス、此危險ニ對スル保險ト云フコトヲ考ヘナケレバナラス、之ヲ綜合シテ稻熱病ニ對スル保險トシテ認メテヤルト云フコトハ、是ハ即チ當然ノコトデアルト思フノデアリマス、以上ノ理由カラ致シマスルト、博士ノ只今マデ申述ベラレマシタコトハ、即チ以テ私共ガ稻熱病ヲ保險ノ中ニ加ヘザルベカラズト云フコトヲ、御力説下サツタモノトシテ感謝スルノデアリマス、以上數點ニ對スル御説明ヲ戴キタインデアリマス

○安藤農事試驗場技師 只今色々御説明ニナリマシタガ、最初ノ點カラ申上ゲマス、稻熱病ト白葉枯病ノ點ニ付テ、氣象狀態ガ關係スルト云フコトヲ、御話ニナツタノデアリマスガ、私ノ最初ニ申シマシタノハ、暴風雨ニ因ッテ起ル場合ガアルト云フ御説デアリマシタカラ、ソレハ否定ヲシナイノデアリマス、サウ云フコトモアリ得ルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、併シ白葉枯ト稻熱トハ全然狀況ガ違フノデアリマシテ、白葉枯病ハ先刻モ申シタ通り、傷ニナツタ所ヨリ入ッテ來ル、無論其病原菌ハ到ル處ニ居ルノデアリマス、ソレカラ又純正培養ヲシタモノヲ擦込メバ病氣ニナルト仰シヤイマシタガ、是ハ傷ヲ付ケテ擦込メバ勿論病氣ニナリマス、併ナガラ傷ノナイ場合ハ、白葉枯病ハ起ラナイノデアリマス、ソレカラ又無論豫防ノ原則ト致シマシテ、白葉枯病デアラウト或ハ胡麻葉枯病デアラウト、出來ルナラバ暴風後ニ直グ「ボルドー」液ヲヤッテ、傷ガマダ生マ——シイ間ニ、ソコニ病菌ガ入ラヌヤウニ豫防スルト云フコトハ、是ハ作物ノ病害ノ豫防ノ方法トシテ、必ズ最初ニヤラレルモノデアリマス、併シソレガ又暴風雨ノヒドクナツタ時ニハ、サウ云フコトモ出來ナイコトモアリマセウケレドモ、學究的ノ言葉ト言ハレルカモ知レマセヌケレドモ、是ハ當然第一ニ考ヘナケレバナラヌ事柄デアリマス、稻熱病ガ白葉枯病ト非常ニ違ッテ居ルコトハ、先刻モ申シマシタガ、稻熱病ハ暴風雨ノ伴フ前後ニ於テ、稻熱病ノ氣候ガ來レバ、其折ニ稻熱病ノ發生スルコトモアリ得ルコトハ、一ツノ條件トシテ肯定シテ居ルノデアリマス、稻熱病ノ發生ハ暴

風雨關係ハナクテモ、陰鬱ナ天候ガ來レバ、其場合ニ起ッテ來ルノデアリマス、而モ白葉枯病ハ既ニ傷ガ付イテ居レバ、其處ニ病原菌ガ居レバ直グ入ッテ行ク、暴風雨ノ間ニ於テモ病原菌ガ入ッテ行クノデアリマス、稻熱病ハサウ云フ陰鬱ナ天候ガ一日二日續イタカラト云ッテ來ルノデハナクシテ、數日間續イテ濕ッポイ氣候ノ折ニ胞子ガ發芽シテ、其處カラ入ッテ行クノデアリマスカラ、病氣ガ出マシテカラ、注意シテ居リマセスケレバ可ナリ廣イ面積ニ傳播スルノデアリマス、注意ヲスレバ其最初ニ於テ見付ケ出スコトハ、必シモ困難デナイノデアリマス、從來我國ニ於テ稻熱病ガ多々發生致シマシタノハ、是等ノ病原菌ガ其附近ニ澤山居ッタコトヲ看過シテ居ッタノガ、大キナ原因デアラウト思ヒマス、是ハ注意ヲシテ行キマスナラバ、豫防出來ルト云フコトヲ申上ゲタイノデアリマス、先刻火事ノ例ヲ引イテ御話ニナリマシタガ、火事ハ一軒火ヲ出セバ、其附近ニ延燒スルノデアリマスガ、稻熱病ノ場合ハ、之ヲ其儘注意シナイナラバ、到ル處ニ火元ガアルト云フコトガ、言ヒ得ラレル譯デアリマス、其火元ハ豫防上ノ注意ヲシマスレバ、火ノ出ナイ前ニ消シテシマウコトガ出來ルノデアリマス、火事ノ發生スル狀

況ハ、或ハ失火デ大火事ニナル場合モアルノデアリマスケレドモ、コチヲ方ハ其火元ヲ火ノ出ル前ニ豫防スレバ、豫防ガ十分出來ルノデアリマス、是ガ白葉枯病ト違フ所デアリマス、又胡麻葉枯病ニ付テモ御話ガアリマシタガ、此問題ニ付キマシテモ、胡麻葉枯病ノ病原ハ、ヤハリ到ル處ニ相當居リマスガ、此病氣ノ出マスノハ、今ノ窒素ノ問題モ無論アリマスガ、元來病氣ガ出ルノハ、胡麻葉枯病或ハ稻熱病ニ限ラズ、肥料ガ多過ギテ、作物ガ軟弱ニナツタ場合ニ罹リ易イノハ、言フ俟タナイノデアリマスカ、胡麻枯病ハ早魃ト、ヤハリ不可分ノ關係ガアリマス、元來胡麻葉枯病ハ營養不良ノ狀態ノ場合ニ多ク出ル病氣デアリマシテ、例ヘバ早魃ガナクテモ肥料ヲヤラナイトカ、又非常ニ瘦地ニ肥料ヲヤラナイト場合ニ、胡麻葉枯病ヲ見ルノデアリマス、早魃ノ場合ニ胡麻葉枯病ガ附隨シテ來ルト云フコトハ、早魃ノ爲ニ肥料ガ假ニアッテモ稻ガ十分ノヲ攝取シ得ナイデ大キナルコトガ出來ナイ、即チ一種ノ營養不良ニ陷ッタトキニ、胡麻葉枯病ガ其處ニ居レバ、胡麻葉枯病ニナルノデアリマス、是モ先刻申シマシタ通り、豫防方法ガナイノデハナイノデアリマシテ、營養不良狀態ノトキニ同時

ニ併發スルノデアリマスカラ、恰モ白葉枯病ガ暴風雨ニ伴ッテ起ルノト同ジ關係ニアルノデアリマス、胡麻葉枯病ガ早魃ト隨伴シマスト同ジヤウニ、稻熱病ヲ考ヘル譯ニハ私ハ參ラナイト思ヒマス、元來病害ニ致シマシテモ、害蟲ニ致シマシテモ、氣象狀態ト全然無關係ト云フコトハアリ得ナイ、コトハ最初ニ申上ゲタ通りデス、廣イ意味デ氣象ノ關係デ來ナイモノハナイト云ウテモ、宜イト思フノデアリマス、若シ保險ノ目的ガ人力デ以テドウスルコトモ出來ナイ、天候關係ニ因ルモノヲ總テ保險ニ入レナケレバナラスト云フコトニナリマスレバ、是ハ大分考ヘ方ヲ違ヘナケレバナラスノデアリマシテ、併ナガラ保險ノ目的ハ人力デ以テ容易ニソレヲ避ケルコトガ出來ナイ、暴風デアルトカ或ハ早魃デアルトカ云フモノ、是トテモヤハリ出來ルダケノ防除方法ガアリ、又早魃ニ付テハ普段カラ旱害ノ防止ノ方法モ考ヘテ居ルコトハ、言フ迄モナイノデアリマス、是ハ實際吾々ガ眼ノ前ニ見テ居ル通りデアリマス、稻熱病モ氣象ノ關係ガアリマスケレドモ、是ハ鬱蒸ノ天候ガ來タカラ鬱蒸ノ天候ヲ通ジテ見テ、抛ッテ置ケバ初メテ病氣ガ起ルノデアリマス、鬱蒸ノ天候ガ起リマシテモ其病氣ガ何カノ豫防方

法ヲ講ジマスレバ、病氣ガ起キナイデ済ムノデアリマス、ソコニハッキリシタ豫防方法ガアル以上ハ、之ニ依ッテ豫防ガ出來ルモノトシ、又ソレヲサセナケレバナラスノハ當然デアリマシテ、隨テサウ云フ風ニ分ッテ居ルモノヲ、同時ニ保險ノ條項ニスルト云フコトハ、私ハ如何カト存ズルノデアリマス、嚴重ニ申シマスルナラバ吾々ノ手ノ及バナイ所ニ、初メテ保險ノ效力ヲ認メルノデアリマス、吾々人力ノ及ブ限リヲ盡スノハ、當然ノ務ト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ尙ホ段々日本ノ農業ガ所謂非常ニ集約化シマシテ、或ハ蔬菜園ナリ或ハ綠肥栽培ヲ非常ニヤリマス結果、土地ガ肥沃度ヲ増ス、例ヘバ窒素分ガ多クナルサウ云フモノヲヤルヤウニナレバ、其後ニ作ッタ物ハ病氣ガ起リ易イ、或ハ又土地ノ肥沃ナ所ニ依ッテ起ル病氣ヲ代表スル意味デ、稻熱病ガ御話ニナリマシタ通りデアリマスガ、是ハ蔬菜ヲ作ルト云フト、ソコニ殘ル肥シガアルガ爲ニ、幾ラカ土地ノ肥沃度ヲ増スト云フコトモアルノデアリマス、是ハ御話ノ通りト思ヒマス、又綠肥ヲ多ク作ル場合ニ於テ、其綠肥ヲ使用スルト、ソレニ依ッテ窒素肥料ハ相當ニ供給サレルト云フコトモ御話ノ通りデアリマス、併ナガラ斯ウ云フコトガアルトシ

マスレバ、ソレニ對シテ其次ニ依ルベキ作物ニ對シテ肥料ヲ如何ニスベキカ、唯土地ガ肥エタカラ肥エタ儘デ抛テ置クベキヤ否ヤト云フコトハ、是ハ吾々大イニ考ヘナケレバナリマセヌ、私共ガ始終農家ノ方、或ハ地方ノ方ニ聞イテ見ルト、土地ノ肥沃度ト云フモノハ無論調ベナケレバナリマセヌガ、作物ヲ栽培スル際ニハ、ソレニ對シテ適當ナ方法ヲ考ヘテ、殊ニ綠肥ナドヲ使ヒマスル場合ニハ、其土地ニ依リマシテ紫雲英トカ青刈大豆トカ云フヤウナモノハ、非常ニ良ク出來ル、良ク出來過ギテ非常ニ收穫ノ多イ場合ガアル、又出來ノ惡イ土地モアル、其綠肥全部ヲ其田ニ鋤込ンデシマフト云フコトハ、是ハ考ヘナケレバナラヌコトデアリマシテ、若シサウ云フコトニスレバ、非常ニ窒素過多ニ陥ッテ、サウシテソレガ爲ニ稻ガ病氣ニナル、又病氣ニナル因ヲ起スノハ當然デアリマスカラ、其場合ニ於テ出來過ギタナラバ、一部之ヲ他ノ畠ナリ田ニ持ッテ行クト云フコトヲスルノハ、當然デアリマス、又農業ガ進歩シテ行ケバ、サウ云フ風ニスルノモ亦當然ダと思フノデアリマス、若シサウ云フモノヲ其儘鋤込マスト云フコトヲヤレバ、病氣ハ相當起リ得ルト考ヘルノデアリマス、是ハ今日能ク使フ言葉デア

リマスカ、詰リ合理化ニナッテ居ナイノデアリマス、私共ハ病氣ノ豫防ノミナラズ此肥料問題ニ付テモ、常ニ施肥ヲ如何ニ合理化スルカト云フコトニ付テ、大イニ農家ヲ指導シナケレバナラヌ、又地方ニ於テモソレゾレ色々ナ方法ヲ試驗ラシ、又施肥標準ノ調査モ致シマシテ、施肥法ノ合理化ヲヤツテ、進メテ居ルノデアリマス、此問題ヲ以テ先ヅ稻熱病ガ起ル原因デアルカラ、保險ノ中ニ入レナケレバナラヌト云フコトニ付テハ、甚ダ遺憾ナガラ私ハ長野サンノ御意見ニハ、賛成シ兼ネルノデアリマス、サウ云フ風ニ御考ヲ願ヒタイと思ヒマス

○長野(長)委員 只今ノ御説明ノ中ノ「鬱蒸ノ氣候ガアルト認メタナラバ、其前ニ豫メ「ボルドー」液ノ撒布ノ途ガアルト、斯ウ仰セラレタノデアリマス、是ハ成程理論カラ言ヘバ、サウデアアルト思ヒマスガ、實際問題トシマスト連モ一段歩ニ「ボルドー」液ヲ持ッテ來テ四五日ノ間ニ、鬱蒸ノ氣候ガ來ル傾向ガアルカラ、低氣壓ガ楊子江ノ方カラ來ル傾向ガアルカラ、サア今ノ中ニ「ボルドー」液ヲヤラウト言ッテモ、ヤレルモノデハナイ、又實際態、ヤルト云フコトニナッテ相當之ヲ指導致シマシタニシタ所デ、一段歩ニ「ボルドー」液ヲ擔イデ行ッテ、相當稻熱病

ノ虞ノアル地帯ノ稻ノ中ニ入ッテ「ボルドー」液ヲ噴霧器デ掛ケルト云フコトハ、實際問題トシテ考ヘラレナイコトデアルト思ヒマス、若シソレヲヤラウトシタナラバ、ソレコソ空論トシテ農民カラ擯斥サレルト思フ、ソレデ低氣壓ガ來テ暴風ガ來サウダカラ、遽ニ豫防ヲヤル、斯ウ云フコトハ實際出來ナイノデアリマス、只今仰セラレタコトハ、直チニ以テ農業保險中ニ稻熱病ヲ入レナケレバナラヌト云フコトノ理由ニナルト思フノデアリマス、ソレカラ鋤込ムト云フ話ガアリマシタガ、私ハ鋤込ムト云フヤウナ愚カナコトヲヤレト云フノデハナイ、詰リ相當ノ沃土ノ乾田ニ於テ紫雲英等ヲ栽培致シマスト、御承知ノ通り地ノ中ニ澤山ノ窒素ガ殘ル、ソレ等ガ稻熱病ノ原因ニナル、是ガ地方ニ稻熱病ノ多イ一ツノ原因ニナッテ居ルト思ヒマス、是ハ申ス迄モナイコトデアリマス、況ヤ青刈ノ綠肥ヲ作ッテ居ナイ場所ニ、綠肥ヲ運搬シ得タ場合ニ於テ起ル現象デアリマスガ、綠肥ヲ使フ以上ハ冷氣ガ來ルト分解ガ十分デナイカラ、土地ノ中ノ反應モ變リマス、又土地ノ中ニ於ケル塊リノ部分ガ大分アリマスカラ、ドウシテモ稻熱病ガ起ッテ來ル、所々ニ病氣ガ起ッテ來ル、ソレニ持ッテ來テ鬱蒸ノ氣候、水害ト云フコ

トガアレバ、自ラ起ルベキモノト考ヘルノデアリマス、尙ホイマ一ツ——一方法保險ニ入レテアリマス所ノ葉枯病ノ如キニ於キマシテモ、御承知ノ通り洪水ガ起リ水ガ來ル、水ガ來マシタ際ニ於テハ其水ヲ成ベク早ク落シテ、深水ノ狀態カラ早ク淺水ニシテシマフト云フコトヲ意ツタナラバ、白葉枯ガ忽チノ間ニ起ルノハ申ス迄モナイノデアリマス、是亦道德的危險率ト絶對ノ關係ガアルノデアリマス、更ニ又冷水ヲ入レルト云フコトハ、白葉枯病ノ原因デアルト云フコトハ申ス迄モナイノデアリマス、更ニ又白葉枯病ト云フモノガ冷水ニ關係ガアルト云フコトカラ考ヘマスト、四國地方ニ於ケル二期作ノ後デ度々起ル白葉枯、是ハヤハリ排水ノコトサヘ注意シテヤレバ、防ギ得ル問題デアリマシテ、近時大分ソレガ無クナッタノデアリマス、北海道方面ニ於テモ同様デアルコトハ申ス迄モナイノデアリマス、ソコデ只今マデ御述べ戴キマシタ事柄ハ、勿論寸分ノ誤ハナイ、博士ノ仰セラレマシタコトハ、勿論其通りデアルト私ハ思ヒマスケレドモ、其病ニ關スル技術的ノ方面及ビ其地質ニ及ボス影響、及ビ其豫防驅除等ニ付テハ、只今申上ゲマシタ通り、實際問題カラ承服スルコトガ出來ナイノデアリマ

ス、且ツ其二三日前ニ豫防藥ヲ撒布スルト云フヤウナコトハ、薄利サ農業トシテ考ヘ得ベクモナイコトデアリマス、斯ウ云フコトハ事實上出来ナイコトアル、生産的技術方面ニ於テハ許スカモ知レヌケレドモ、經營學的、經濟學的の方面ニ於テハ、斷然峻拒シナケレバナラス、是ハ農民ノ立場デアリマス、斯様な意味カラ只今マデ申上デマシタコトハ、農業經營ノ主體、成ベク利益ヲ永遠ニ互ッテ得ヨウト云フ農業經營ノ根本原理ノ鐵則ニ考ヘマス、今日ノ稻熱病ハマダ／＼保險ニ入レル必要ハナイト云フ程、經濟的、合理的、實際的ニ豫防シ得ルモノデハナイト云フコトヲ、私ハ斷言致シタイノデゴザイマス、之ニ對シテハ如何ナル御考デアリマセウカ

○安藤農林技師 今稻熱病ノ豫防ハ事實、言ッタッテサウハ行クモノデハナイト云フ御話ガアッタノデアリマスガ、ソレハ無論極ク完全ナコトヲ言ヘバ、或ル時期ヲ限ッテ成育中ニ三回ナリ四回ナリ繰返スト云フコトハ、豫防ノ方カラハ至當ナリト認メマスケレドモ、是モ直グ地方ノ農家ニヤレナイト云フコトハ、御話ノ通りニ今直グニハ出来ナイカモ知レマセヌケレドモ、作物ノ成育ノ途中ニ於テ危險ノアル場合ニヤルト云フコト

ハ、今經營ノ方面カラ仰セラレマシタケレドモ、當然ヤルコトヲ獎勵シナケレバナラヌシ、又獎メテ行カナケレバナラス事柄デアリマシテ、之ニ付デモ農林省トシテハ始終考ヘテ居リ、或ハソレ等ノ助成等ニ付デモ、考ヘテ居ルト存ジテ居リマスルガ、其方面ノ助成ノ問題ハ姑ク措キマシテ、又農家自身トシテモ當然是ハ進ンデヤラナケレバナラス所謂農家經營ノ、一ツノ問題ト考ヘテ宜イト思フノデアリマス、今マデ比較的ニソレガ閑却サレテ居ッタノハ、甚ダ残念デアリマシテ、段々是ガ進ンデ行キマスレバ、ドウシテモサウシナケレバナラスト存ズル次第デアリマス、又サウ云フ風ニナッテ參リマスレバ、或ル程度ニ於テ是ハ豫防ガ出来ルト云フコトニナッテ參リマス、其方法カラ參リマスレバ豫防ガ出来ルノデアリマスカラ、ドウシテモ之ヲ日本ノ今日ヤラウトシテ居ル農業保險ノ中ニ入レルベシト云フ長野サンノ御意見トハ、或ハ違フカモ知レマセヌケレドモ、私ハソレハヤハリサウ信ジテ居ルノデアリマシテ、此處デ入ル入ラスト云フ水掛論ヲヤル意思ハ毫モナイノデアリマスケレドモ、私ハ豫防ノ出来ルモノデアッテ、此保險ノ外ニ置クベキモノデアルト思フ、若シサウ云フモノガサウ云フ

状態デ發生スルカラ、入レナケレバナラスト云フコトナラ、他ノ多數ノモノヲ入レナケレバナラスト云フコトハ當然デアリマスガ、又其結果トシテ惡イ方ヲ見マスレバ、豫防法ノ履行ト云フモノガ出来ナクナルト云フコトモ、考ヘナケレバナラスト存ジマス、サウ云フ風ニ考ヘマスガ、尙ホ何カ今御話ノ中デ私ノ答ガ落チテ居リマシタラ、一寸伺ヒタイト思ヒマス

○長野(長)委員 イヤ宜シウゴザイマス、只今御説明ヲ戴キマシタ所ニ依リマス、豫防ト云フコトハ農林省ニ於テモ相當考ヘテ居ルコトダシ、鬱蒸ノ天候ノ來ル二三日前ニ相當ノ藥ヲ撒クナリ、適當ナ方法ヲ執ルコトガ宜イト云フコトヲ、御強調ニナッタヤウデアリマスガ、是ハ實際問題デアリマス、理想的ニ「ボット」ノ中ニ一本カ二本稻ヲ植エテ置イテ、サウシテ試験場ノ「ハウス」ノ中デ試験スル場合ニハ、私ハ其御議論ハ滿點ト思ヒマス、ケレドモ實際問題カラ考ヘテ見マス、四千町歩ノ土地ニ假ニ「ボルドー」液、石灰、硫酸銅、此分量デスラモウ山ヲ成ス位ノモノヲ撒カナケレバナラストデアリマス、ソレカラ又噴霧器ナドハ、全町村ニ十數挺アルト假定致シマシテモ、サウ云フモノガ澤山要ル、之ニ要スル費用

ハドノ位カト言フト、マア三四千町歩モアレバ六七万圓ノ金ガ要ルノデアリマス、政府カラ二万圓ノ補助ヲシテヤッタト致シマス、先生ノ仰シヤラレウニヤル、是ハ肯定致シマス、所ガ低氣壓ハ年ニ一回來ルモノデアリマセヌ、鬱蒸ノ天候ハ年ニ一回來ルモノデアリマセヌ、愈、穗孕ミノ頃カラ稻ノ青熟期ニ至ル何十日間、ソレコソ三日ニ一度、一週間ニ一度鬱蒸ノ天候、大抵氣壓ガヤッテ來ルノデアリマス、假令ソレガ九州ノ南端カラ朝鮮海峽ノ方ニ外レタトシマシテモ、其影響ハ外レタ時ガ最モ甚シイノデ、其時ニ關東ニ掛ケテモ稻熱病ノ發生シ易イ鬱蒸ノ氣候ニナルノデアリマス、ソコデ今日モ藥ヲヤッタ、一週間モスルト又警報ガ揚ッタ、鬱蒸ノ氣候ガ來ル、今年ハ非常ニ好ク稻ガ出来テ居ルカラ危イト云フコトデヤリ、又ヤル、少クトモ四五回モ稻ノ一成育期間中ニヤリマシタナラバ、ソレコソ勞銀ト藥代ニ依ッテ、農業ノ收益ハナイコトニナルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、前ニ條件トシテ申上ゲタコトハ農政上、言ヒ換ヘタナラバ農民生活ノ實際問題トシテ、考慮シナケレバナラストデアリマス、勿論稻熱病ノ病原菌ノ研究、サウ云フ技術方面ニ於テハ幾多ノ議論ガアリマセウ、ケレド

モ實際ハ農民ガ自分ノ田ノ稻ニ是等ノ病害ノ來ラザルコトヲ希ヒ、若シ來ル時ニ於テ最モ經濟的ニ、有效的ニ之ヲ防除スルノ方法如何ト云フコトヲ考ヘナケレバナラス、又吾々ノ解決シテヤラナケレバナラスコトハ私ハソコダト思ヒマス、所ガ只今申スヤウニ、先生ノ唯一ノ條件トセラレテ居リマス所ノ、病氣ノ起リサウナ條件ヲ想定ヲシテ、其數日前ニ防除シタラ宜イ、藥ヲヤッタラ宜イト云フ御説明ハ、是ハ數回行フ必要ヲ伴フ問題デアリマスシ、事實上經濟上絶對ニ出來ナイコトデアリマス、稻ノ一成育期間ニ數回モ藥ヲ掛ケルト云フコトハ、是ハ夢ニモ考ヘラレナイコトデアルト思フノデアリマス、ソコデ私ハ學理的方面カラシテモ、葉枯病ト稻熱病ハ幾多ノ共通點ガアル、或ル意味ニ於テハ私ハ只今御説明セラレタ其一二ニ付テ見デモ、ソレト同一デアルコトハ論ズル迄モナイ、ケレドモ近頃葉枯病ノ病源及ビ其手當、稻熱病ノ病源及ビ其手當ト云フコトヲ比較シタ場合ニ於テ、幾多共通シ、同一ニ之ヲ保險事故ノ中ニ加フベシト云フ議論ガ成立ツ、是ハ只今先生ノ御説明ニナッタ所ニ依ッテ、十分成立ツト思フ、況ヤ先生ガ完全ニ防ギ得ルト言ッテ、其條件トシテ御述ニナリマシタ數日前ニ藥ヲ撒布

スルト云フ所謂理論的ノ問題ハ、是ハ嘘デアリマス、事實上私ハ行ヒ得ナイト思フ、是ハ寧ロ私ハ先生ガ御説明ニナラス方ガ宜イト思フ、寧ロ私ハ先生ニ御聞キスル必要ガナイ、是ハ議論スル迄モナイ、ソナコトハ出來ルモノデハナイ、低氣壓、鬱蒸ノ氣候ノ前ニ、何回モ何回モ繰返シテ「ボルドー」液ヲヤルト云フコトハ、是ハ出來ナイコトデアルト私ハ信ズルノデアリマス、況ヤ「ボルドー」液ヲヤリマスと云フト「ボルドー」液ハ一雨毎ニ流レテ行クノデアリマス、サウ云フ關係カラ、殊ニ稻ノ性質上カラ考ヘマシテモ、是ハ事實上出來ナイコトデアルシ、先ヅ是ハ一ツノ學問的研究ノ對象トシテハ、議論ノ餘地モアリマセウガ、實際農業經營ノ立場ニ於テハ、寧ロ私ハ此際安藤博士ガ稻作ノ實際ノ問題カラシテ、之ヲ十分ニ御檢討ヲ戴キマシテ、本日ノ此事ヲ以テ先生ノ御研究ヲ御打ちリスルコトナク、尙ホ一ツノ理論ノ上ニ於テ研究ヲシテ戴キタイト思ヒマスガ、所謂經營的及ビ生産兩方面カラ考ヘテ、是ハ不可能ノコトデアル、理論的方面ニ於テ是ハ先生ノ更ニ御指導ノ願タイト思ヒマスガ、私ハ茲ニドウシテモ病ノ傳播スル前ニ消毒スレバ宜イ、病原菌ノ擴ガラヌ前ニ豫防スレバ宜イト

云フ理由ヲ以テ、此稻熱病ヲ此保險事故ノ中ニ加ヘナイト云フ立論ダケハ、御撤回ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、之ニ付テ御答辯ヲ願ヒマス

○安藤農事試驗場技師 只今稻熱病ノコトニ付テ、更ニ長野サンカラ御話ガアッタノデアリマス、稻熱病ニ對シテ暴風雨ノ來ルノガ屢々デアッテ其間ニ陰鬱ナ天候モ屢々續クノデアルカラ數回之ヲヤラセル、私ノ數回ト云フコトヲ申上ゲタノハ、完全ヲ期スルニハ無論ヤラナケレバナラス、併ナガラ前ニ申上ゲナカッタカイケナカッタカモ知レマセヌガ、稻熱病ノ發生スル狀況カラ考ヘテ見マシテモ、稻熱病ノ最モ收穫ニ害ヲ及ボスノハ、穗首稻熱病デアリマス、是ハ何時頃出ルカト云フト出穂直後ニ起ルノデアリマス、之ヲ豫防スルノニハ丁度出穂前穗孕ミノ時期ニ於テ、劍葉ニ稻熱病ガ著キマス、其著イタ場合ハ穗首稻熱病ガ著キ易イノデアリマス、其時期ニ於テサウ云フ危險ガアレバ、「ボルドー」液ヲ撒布シテ宜イノデアリマシテ、大體其前ニ成育中ニ於テ若シ病虫ガアレバ、之ヲ直グ取去ッテシマフト云フコトハ、最初ニ申上ゲタノデアリマシテ、所謂吾々ノ實驗室ノ方面カラダケデ、申上ゲテ居ルノデハナイノデアリマシ

テ、稻ノ色々ノ種類ガ栽培セラレテ居ルノデアリマスカラシテ、出穂期ノ直前ニサウ云フ陰鬱ナ氣候ガアレバ、其折ニソレニ對シテ豫防ヲスレバ宜イノデアリマシテ、モウ出穂シテ相當穗ガ固マッテ來レバ、容易ニ病氣ガ入ラナイノデアリマスカラ、假ニ長野サンノ仰シヤル通り、低氣壓ニ伴フ陰鬱ナ氣候ガ西ノ方ノ稻熱ニ大關係ガアルト致シマシテモ、例ヘバ七月カラ九月ノ末ニ至ル迄ノ低氣壓ノ場合ヲ、總テ考ヘル必要ハナイノデアリマシテ、出穂期ノ陰鬱ト云フコトハ一番大事デアッテ、其時期ニ防禦スレバ、大體私ハ目的ヲ達シ得ルト思ヒマス、昭和十年ニ北海道ニ於テヤリマシタ空知郡ノ場合モ、好成績ヲ擧ゲマシタノデスガ、是ハ約五千何百町歩ニ涉ッテ居リマス、是ハ種ノ消毒カラ、成育中ニ於ケル不良株ノ拔取り、燒却、其他「ボルドー」液モヤッテ居リマス、又一方極ク地域ガ小サイノデアリマスガ、最前申上ゲマシタ長野縣ノ實例ニ見マシテモ、病氣ガ起レバ非常ナ損害ヲ受ケルノデスガ、ソレダケノ豫防ヲシタ爲ニ完全ナ收穫ヲ得テ居ルノデアリマス、是ハ試驗デハナイ、實際ニヤッタ成績デアリマスカラ、年々場所ニ依リマシテハ、稻熱病ガ非常ニ起ル所モアリマスケレドモ、サ

ウフ陰鬱ナ天候ニ因ッテ大被害ヲ受ケルト云フコトハ、年々ノコトデナイノデアリマス、其時期ヲ能ク選ンデ豫防サヘスレバ、豫防ガ出來ルト云フコトハ、撤回シロト云フ御話デアリマシケレドモ、私ハ其氣分ニハナレナイノデアリマシテ、豫防ガ出來ルト云フコトヲ、ヤハリ私ハ信ジテ居ルト云フコトヲ申上ゲルノデアリマス

○長野(長)委員 出來ルト言ハレマスケレドモ、是以上押問答ニナッテハイケマセヌカラ、極メテ冷靜ナ態度デ御答ヲ願ヒタイト思フコトハ、穗孕ミノ頃ニハ相當雨ガ多イノデアリマス、ソレハドウカト云フト、殊ニ一日ニ於テ何十耗ト云フヤウナ雨ノ多イコトガアリ、又サウデナカッタ、早魃ガ起ッカリシテ、日本ハ非常ニ不仕合セニナリマス、雨ノ多イ時ニ藥ヲ持ッテ行ッテ撒布スルト云フコトハ、是ハ實際出來ナイノデアリマス、又今日降ッテ明日直グ降ル、或ハ又其當時ズツ降り續クコトガアル、殊ニ四國トカ九州ノ方面ヘ行キマス、六七月ノ植付ケ後、相當ノ頃ニ非常ニ雨ガ多イノデアリマス、八九月ニハ雨ガ非常ニ多イ、又雨ノ多イト云フコトハ農事試験場ニシテモ、大學ニシマシテモ、稻ノ增收ノ條件デアリシ、又ソレヲ願ウテ居ル次第デアリマス、又ソレガ現在普

通ナノデス、若シ其當時雨ガ降ラナカッタ

ラ、ソレコソ大變ナコトニナリマス、分蘗期カラ致シマシテ出穂期、穗ノ出揃期ニ至ル迄、ヲ持つ頃ニ至ル迄、相當ニ雨ガ多イコトニ依ッテ、健全ナ發育ガアルノデアリマス、隨テ其當時「ボルドー」液ヲ掛ケテ防グト云フコトハ、或ル特別ナル地方ニ於テ幸ニ得タル條件デアリマス、全國的ニ眺メタ時ニ於キマシテハ、穗孕ミ前後非常ニ雨ガ多イカラ、藥ヲヤッテモ利カナイ、藥ヲヤッテモ直グ押流サレル、斯ウ云フコトニ相成ルト考ヘルノデアリマス、是以上申シマシテモ、議論ノ問題デ際限ガナイト思ヒマスケレドモ、幸ニ博士ハ學者デアリマス、學者の良心ニ依ッテ答ヘラレテ居ルノデアリマス、故ニ私ハモウ一度此點ヲ御尋シタイ、即チ分蘗ヨリ穗ノ出揃期ニ至ル迄ハ、相當ニ雨ノ多イ時期デアアル、或ル地方ニ於テハ雨ガ相當ニ多イ、是ハ大事ナコトデアアル、隨テ晴天ノ時ニ掛ケテハ、直グ雨ニ流サレル、又掛ケントシテモ、雨ガ降ッテ居ルカラ困難ト云フヤウナ實情デハナイカ、此雨ト藥ノ關係ニ付テ簡單ニ御答ヲ願ヒタイ

○安藤農林技師 只今雨ノコトニ付テ御話デアリマシタガ、ソレハ仰セノ通りデアリマス、日本ノ稻作ガ梅雨ニ依ッテ非常ニ利

益シテ居ルト云フコトハ、申ス迄モナイコ

トデアリマス、併ナガラ非常ニ雨ガ降ッタ折ニ直グニ稻熱病ノ原因トハ考ヘラレナイ寧ロ時々小雨ガ降ッテ、曇リ勝ノ天候デアルト云フヤウナ折ガ、先ヅ稻熱ガ入り易イト私ハ思フノデアリマシテ、所謂六月ノ梅雨季カラハ、九月ノ間ニハ、日本殊ニ中國カラ南ノ地方ニ於テ雨ガ多イコトハ、御話ノ通りデアリマス、併ナガラ是ハ毎日降ッテ居ルノデハナイノデアリマス、印度ノ「モンスーン」トハ違ッテ居リマシテ、雨ノ降ル日ト降ラヌ日ガ相當其間ニ間隔ガアルコトガアリマス、又小雨ガ降ッテモ、曇ッタ儘デ、天氣ノ續クコトモアリマス、ソレガ長ク續ク場合ニ於テ初メテ此病氣ガ發生スルノデアリシテ、大雨ガ降ッタカラ直グニ病氣ガ起ルト云フコトデハナイ、寧ロ六月カラ八月マデハ雨ガ多イ季節デアリマスケレドモ、同時ニ始終曇ッテ居トラ、ヤハリ米ガ穫レナイノデアリマスカラ、相當ニ天氣デナケレバナラヌト云フコトモ、無論申ス迄モナイコトデアリマシテ、其間ニ於テ豫防ガ出來ル、或ハ毎日雨ガ續イテ「ボルドー」液ヲヤッテモ、中々ウマク行カナイト云フコトハ、私モアリ得ルトハ思ヒマスケレドモ、ソレガ雨ガ降ル爲ニ「ボルドー」液ガ撒布出

來ナイト云フ全體のノコトニハナラヌト私

ハ思フ、部分的ニ於テサウ云フコトガ出來ナイト云フ所モアリ得ルト思ヒマス、兎ニ角出穂期ノ前後、丁度二百十日前後デアラカラ、雨ガ多イト云フコトハ考ヘラレマスケレドモ、必ズ其時期ニ於テ雨ガ續イテアルモノト考ヘラレナイノデアリマシテ、又稻ノ栽培セラレテ居ル種類ガ一種類デナク、數種類栽培サレテ居リマシテ、其穗孕ミ、出穂期モ違フノデアリマシテ、其間ニオ五ニ距離ガアリマシテ、天候ノ霽レ間ヲ見テ豫防スルト云フコトガ、私ハ出來ルト思フノデアリマス、ソレヨリモ先ヅ考ヘテ見タイコトハ、其折「ボルドー」液ヲヤル前ニ、種粃ノ消毒、前年病氣ノアツタ稻粃ヲ、殊ニ肥料ニスル或ハ苗代ニスル、畦畔ニ積ンデ置クト云フコトヲ、十分ニ取締ッテ行キマシタナラバ、是ハ本田ノ成育ノ間ニ於テ、病害ヲ防グコトニ非常ニ效果ガアルト思フ、本田ニ於テマダ出穂期前ニ於テ、是等ノ方法ニ依リ、又「ボルドー」液ノ撒布ニ依ッテ本田ニ於ケル病害ヲ出來ルガケ豫防シマシタナラバ、出穂期ニ於ケル病氣ハ餘程減ルノデアリマシテ、ソレト相俟ッテ豫防ガ出來ルノデアリマス、是ハ私ハ唯實驗室内デドウト云フ意味デ申スノデハナク、實際ノ

方面カラ見テ、又農家經營ノ上カラ申シマシテ、先刻御話ニナリマシタヤウニ、相當效果ガアリ、詰リ減收ヲ防ギ、農家ノ減損ヲ防グ——積極的ノ增收デハナイノデアリマスケレドモ、減損ヲ防グト云フコトハ、ヤハリ等シク農家經濟ノ損ヲ少クスル所以デアリマシテ、是ハ當然農家ニ獎勵シテヤラセナケレバナラス仕事デアリマス、ソレニ依ッテ豫防ノ效果ヲ達スルコトガ出來ル、甚ダ水掛論ノヤウナコトヲ申上ゲマスケレドモ、私ハサウ思フノデアリマス、ドウゾ左様御諒承ヲ願ヒマス

○村上委員長 長野君ニ御相談ヲ致シマス、一時間有餘ニ涉ッテ、極メテ熱心ナル質問應答ヲ皆サント共ニ拜聴致シマシタガ、委員長ノ判斷ニ依レバ、稻熱病ノ原因ニ關スル御意見ハ、大體ニ於テ諒解ガ行ッテ居ルモノト見テ宜イヤウニ考ヘマス、唯之ヲ豫防スルコトガ出來ルカ出來ヌカ、保險ニ入レルコトノ可否ト云フコトニ付テハ、ドウモ大分ソコニ意見ノ相違ガアルト思ヒマス、此意見ノ相違ハ容易ニ一致スル所マデ行カナイコトダト思ヒマス、轉ジテ又是ガ次カラ次ヘト微ニ入り細ニ涉ツタ只今ノ如キ質問ニナリマス、委員會ノ審議ノ進行ノ上ニ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、委員長ノ

見ル所デハ、稻熱病ノ原因ニ關スル御見解ハ大體一致シテ居ル、唯豫防ガ出來ルカ出來ナイカ、保險ニ入レルノガ適當デアルカナイカト云フコトニ付テハ、意見ニ相違ガアル、此相違ヲ一致セシムルガ爲ニハ、何時マデ時間ヲ使ッテ見テモ容易デハナイト私ハ思ヒマスカラ、此程度デ長野君ノ御質疑ハ一先ヅ終了サレンコトヲ、委員長トシテハ希望致シマス

○長野(長)委員 謹ンデ承リマスガ、一寸委員長發言ヲ許シテ戴キタイ、議事進行ニ關係モアリマスカラ……宜シウゴザイマス

カ——其病原ノコトハ先生カラ御説明ヲシテ戴カナクトモ、私ハ分ッテ居ルノデアリマス、病原菌ニシテモ如何ナル場合ニ出來ルカ、ソレハ初カラ私ハ言ウテ居ル、サウ云フコトヲ御尋スルノデハナイ、何故稻熱病ヲ保險ニ入レナイカ——斯ウ云フコトニ陷ラサヌヤウニ、私ハ念ノ爲ニ議事進行ノ動議ヲ提出シテアルノデアリマス、遺憾ナガラ微ニ入り細ヲ穿ッテ病原菌ノコトニ行カレ、ソレガ私ノ腑ニ落ちナイ、全體ニモ影響スルカラ私ハ御質問申上ゲタノデアリマス、是カラハ私ハ其豫防ガ出來ルカ出來ヌカ、或ハ病原菌ニ關スルコト、サウ云フコトハ一切御質問セヌノデアリマス、只今

前以テ御願シテ置キマシタ事項ニ付テ、直接關係スル實際問題ニ付テ御尋シタイノデアリマス、是ガ本當ニ畫龍點睛デアリマシテ、本問題解決ノ要點デアリマス、ソコヲ御諒承願ヒマス

○村上委員長 委員長ハドウモ聊カ困惑致シマス

○長野(長)委員 只今委員長ノ限定セラレマシタ事項ニ付テハ、質問ヲ致サナイノデアリマス、要スルニ病原及ビ豫防ノコトニ付テハ御質問致サナイノデアリマス

○村上委員長 御質問ナサラスノデスネ……

○長野(長)委員 病原ト豫防ノ方法トカ何トカ云フコトニ付テハ、私ハ質問ハ致シマセヌケレドモ、保險ニ入レルカ入レヌカト云フコトニ直接關係ヲ持ツ、只今マデノ質問ヲ生カスカ殺スカニ付テノ重要問題ニ付テ、是カラ御尋スルノデアリマス

○村上委員長 ソレデハ簡單ニ願マヒス、御答辯ノ方モ簡單ト云フヨリハ寧ロ簡潔ニ御願致シマス

○長野(長)委員 ソレデ穂孕ミノ前後ニハ非常ニ少イ、穂孕ミノ前後ハ、其間ニ雨ガ降ッテモドウデモ餘リ心配スル必要ガナイ、曇リデモオ日サンガ顔ヲ出シタ時ニ一寸掛ケレバ宜イ、斯ウ云フ意味ノ御話デアッタト

思フノデアリマス、所ガ實際問題トシテ稻熱病ノ起ルノハ、只今博士ノ仰シヤラレタヤウナ、比較的オ日サンノ顔ヲ出スヤウナ時ニハ起ラナイノデアリマス、ドンヨリト曇ッテ、雨ガ降ッタト思フト又鬱蒸デアル、斯ウ云フ時期ニ於テ起ルノデアリマス、北海道ニ於テイツヤラ起ッタガ、近頃起ラナイト言ハレルガ、ソレハ各種ノ條件ニ於テ惠マレテ居ルカラ起ラナイノカモ知レヌノデアリマス、ドウカ起ッタ時期ヲ統計ニ依ッテ御調査ヲ願ヒタイ、詰リ稻熱病ノ起ッタ時ハ、其地方ノ氣象狀態ハ如何デアルカ、雨ノ狀態ハドウデアルカ、曇天デアルカ、晴天デアルカ——カラ／＼トシタ晴天ノ時ニハ起ルモノデハアリマセヌ、概シテ日本トシテハ實際上サウ云フ氣候ガ五年ニ一回、十年ニ一回位起キテ居ル、五月雨ノ如クイツモ

ジョビ／＼ト雨ガ降ッテ居ル、サウ云フ時期ガアル、其時ニ機會好シトシテ病菌ガ蔓延シテ來ルノデアリマス、私モ相當ニ調査シテ居リマスガ、博士ニ於カレマシテモ、稻熱病ニ罹リタル地方ノ氣象狀態ニ付テ、精密ナル根據ガアリマシタナラバ、ソレヲ御示シ願ヒタイ

○安藤農事試験場技師 私ハ今ノ御尋ニ付テ、此處ニ統計表ハ持ッテ居リマセヌガ、稻

熱病ハ陰鬱ナ天候ニ於テ起ルノデアリマス、私ハ敢テソレヲ否定致ス譯デハアリマセス、其通りニ存ジテ居リマス、併ナガラ——例ヘバ私ノ實際記憶シテ居ルノハ、四十三年秋田縣ニ起キマシタ時ニハ、色々ナ品種ガヤラレタ、陰鬱ナ天候デアリマシタガ、或ルモノハ出穂ガ早カッタ爲ニ稻熱病ニ罹ラナカッタガ、丁度其折ニ穂孕ミシテ穂ガ芽ザシタモノハ、害ヲ受ケタ、ソレカラ又最近デハ——是ハ先刻申上ゲテアルカト思ヒマスガ——アナタノ方ノ第一作ガ病氣ニ

ナッタ、是ハ六月前後ズット雨ガ續イタ爲メダト云フコトハ、其當時ノ氣象、天氣圖ニ依ッテモ、分ルノデアリマス、又昭和九年ニ於テハ東北地方ノ一部分ニ稻熱病ガ起ッタ、是モ同ジヤウニ陰鬱ナ天候ガ續イタ爲ニ、起ッタノデアリマスケレドモ、併シ陰鬱ナ天候ト言ッテモ、始終雨ガズット降ッテ居ル譯デハナイ、其間ニハ晴間モアルシ、又晴間ニ限ラズ、今迄ノ御話ノ通りニ「ボルドー」液ガ流レテ、何回モ掛ケナケレバナラスト云フ御話モ、私ハ否定シナイノデアリマス、サウ云フコトモアリ得ル、流レタ事實モ澤山知ッテ居リマス、併シ單ニ「ボルドー」液ヲ掛ケルバカリデナク、「ボルドー」液ニ松脂ヲ入レテ流レヌヤウナ工夫モシテ居ル、北

海道ノ如キコトモアリマスシ……、是ハ晴間ヲ見テヤレバ、非常ニ大雨ノ時ニハ流レマスケレドモ、多少ノ五月雨ガ降ッタカラト言ッテ、サウ總テガ流レル譯デハナイ、一應ハソレデ豫防ガ出來ルノデアリマス、此意味デ私ハ豫防ガ出來ルモノダト申シタノデ、餘リ執拗イノデアリマスケレドモ、私自身ノ經驗ニ依ルト、サウ考ヘテ居ルト云フコトヲ申上ゲルヨリ外ハナイデアリマシテ、左様御諒承ヲ願ヒマス

○長野(長)委員 之ニ關聯シマシテ愈、結論ニ到達シタカラ、政務次官ニ御聽キヲ願ヒタイノデアリマス、只今マデ非常ニ時間ヲ要シマスシタガ、遺憾ナガラ問題ノ核心ニ觸レルコトガ遅カッタノデアリマス、大體漸ク核心ニ觸レテ來タノデアリマス、詰リ安藤博士ノ御説明ノ中ニ於テ、本問題ヲ解決スルノニ重要ナ稻熱病ヲ入レルヤ入レザルヤト云フコトニ、關聯ノアルノハ何カト云フト、詰リ政府ガ唯一ノ條件トシテ居ル風水害、即チ氣象狀態ニ關スル問題デアリマスガ、政府ハ是ト相伴フモノトシテ主張セラレテ來タノデアリマス、ソコデ本問題ヲ解決スルノハ理窟デハナイ、委員長ノ仰シヤルヤウニ、原因デアルトカ何トカ云フ理論デヤナイ、水掛論ノ問題デヤナイ、實際ノ問題ハ何處

ニアルカト申シマスルト、是ハ詰リ實際問題ト致シマシテハ、風水其他氣壓ト云フヤウナ氣象狀態ガ、ドウ云フ風ニ配置サレル時ニ於テ稻熱病ガ起ッテ來ルカ、言換ヘタナラバ、雨ガ非常ニ多イ鬱蒸ノ時ガ多イ、斯ウ博士ノ仰シヤル理由ノ如ク、サウ云フコトガ直接原因デアアル、然ルニ其鬱蒸デアリ、多濕デアリ、ソレカラ其他ノ冷エルトカ何トカ云フ條件ト云フモノ、全部是ハ雨、風、溫度、濕氣ト云フヤウナ、サウ云フ氣象狀態カラ起ッテ來ル問題デアアル、其配置カラ起ッテ來ル問題デアリマス、ソコデ本問題ヲ解決スルニ付テ、一番大事ナ問題ハ何カト申シマスルト、五年ニ一度、十年ニ一度襲

ウテ來ル變則的ナ氣象狀態デアアルノデアリマス、殊ニ雨ト云フコトヲ中心ニシタ氣象狀態デアアルノデアリマス、遺憾ナガラ博士ハ稻熱病ノ發生シタル時ニ於テ、雨ノ配置、濕氣、溫度ノ關係ハ如何デアルト云フコトニ付テ、之ニ對スル統計モナイ、之ニ對スル研究モナイ、不肖ナガラ私ハ本問題ニ付テハ十分ナル證據ヲ持ッテ居ル、北海道ニ於キマシテモ、高知縣ニ於キマシテモ、高知縣ノ如キ私居リマシタケレドモ、ソレニ關スル報告ニ依ッテ、逸早く駁付ケテ共事實ヲ突止メマシタ、其外私ガ二十數年稻作ニ直

接間接ニ關係シタ所ニ於キマシテモ、其數理的關係ニ於キマシテ、其雨、鬱蒸ト云フコトハサウ年々續クモノデハアリマセス、博士ノ仰シヤルヤウニ、穂孕ミヲ中心トスル、或ル一定ノ期間ニ於キマシテ、折惡シク其鬱蒸ト多濕ト云フコトガ襲フ狀態ガ起ッテ來ル、隨テ其場合ニ於テハ中々雨ガ多イカラ、藥ヲ掛ケテモ效カナイ、事實藥ヲ掛ケルコトハ困難デアアル、又農家ノ實際トシテ、何時モ「ボルドー」液ノ材料ヲ揃ヘテ居

ル譯ニハ行キマセス、サア明日カラ低氣壓ガ起ルカラ、是ハ大變タカラ集メヨウト思ッテモ、集メルコトハ出來マセス、斯ウ云フ事實カラ考ヘテ見マシテモ、只今マデ博士ノ仰シヤラレタ理論、其他ハ傾聽シテ拜聴致シマシタケレドモ、遺憾ナガラ私が御質問申上ゲ、本問題ヲ解決スベキ政府ノ唯一ノ參考デアリ、又唯一ノ指導者デアルト仰セラル、所ノ安藤博士ハ此稻熱病ニ直接關係ヲシマス所ノ雨、溫度ト云フモノノ配置狀態、統計的證據ニ依ッテ、果シテ是ガ頻繁ニ來ルモノナリヤ否ヤ、サウ云フ雨ガ頻繁ニ現レルヤ否ヤ、斯ウ云フ問題ニ付テハ、遺憾ナガラ茲ニ説明ヲスルコトノ持合セガナイ、斯ウ仰セラレル事實ニ基イテ、本問題ハ愈、一轉致シマシテ、政治的ニ解決ヲシ

ナケレバナラヌコトニ相成ルト信ズルノデアリマス、是ガ農林次官ニ對スル質問ノ一ツデアリマス、第二ニ、政府ハ東北冷害ニ付キマシテ、是ガ本法案ニ入レルト云フコトニ付テ是ヲ遷延サレントスル態度ノヤウデアリマス、然ルニ此冷害ト云フコトト稻熱病トハ、直グニ即應シタ問題デアリマス、冷水ガ掛ッテ來ル、冷害即、或ル地方ニ於テハ稻熱病ニナルノデアリマス、冷稻熱病ニナルノデアリマス、冷害即冷稻熱病デアアル、成ル譯デアリマス、學理モ之ヲ證シ、事實モ之ヲ雄辯ニ立證シテ居ル、是ニ於テ風水害ニ直接連絡スルモノガ葉枯レデアアル、胡麻枯レデアアルト云フコトニ私ハ反對致シマセヌガ、同時ニ葉枯レト云フヤウナモノガ寒サノ爲ニモ影響セラレテ來ル、冷害ト相當ニ深刻ナ關係ガアルト云フコトモ、否定スルコトハ出來ナイ、況ヤ冷稻熱病ト云フモノハ、空氣ガ冷エル爲ニ水モ冷エルト云フコトガ、冷稻熱病ノ原因ニ相成ルコトモ、是モ亦稻熱病ノ病原菌ノ本質カラ見テモ、否定スルコトガ出來ナイノデアリマス、此意味ニ於テ、私ハ此稻熱病ハ、一面ニ於テハ氣象ト直接關係ヲ持ツ意味ニ於テ、只今縷々博士ノ御示教戴イタ理由ガ其儘原因トナッ

テ、當然保險ニ入レラレナケレバナラヌト云フコトニ相成ルト共ニ、東北ノ冷害ト云フモノハ、此冷害ト保險ト云フコトノ中ニ、ヤハリ稍、薄弱デハアルガ、稻熱病ト云フコトガ楔ニナルノデアリマシテ、兩者ガ楔ニナッテ連鎖シテ居ル問題ト相成ルノデゴザイマス、就キマシテハ農林政務次官ハ、只今マデノ應答ニ對シテ如何ナル御所見ヲ持チマセウカ、或ル點ニ付テハ、直チニ御述ニナリ得ナイ部分モアリマセウカラ、若シ時間ヲ別ニシテ御答辯ヲ戴ケルナラバ、ソレデモ宜シウゴザイマス、何卒是等ニ付テ御答辯ヲ戴キマス

○高橋政府委員 今マデ長野委員ト安藤場長トノ質疑應答ヲ拜聽致シマシタガ、安藤場長ハ、豫防シ得ラル、斯ウ言フノデアリマス、アナタハ豫防シ得ラレナイ場合ガアルト、斯ウ言フノデス、ソコデ御二人ノ意見ハ一致シナイト私ハ受取ッタノデアリマス、ソコデ今回此保險法ノ制定ノ時ノ考ヘ方ヲ、只今改メテ申上ゲマスト、詰リ農業災害ニ對シマシテ、何トカ善後處置ヲ執ラナケレバナラス、政策ヲ樹立シナケレバナラヌト云フノデ、色々ノ點カラ政府ニ於キマシテハ研究致シマシタ、又其後議會ニ現レテ參リマシタ議員諸君ノ輿望ト言ヒマ

スカ、農業保險法ノ必要ナル輿論ニモ聽從致シマシタ、サウシテ昨年ノ十二月ニ於キマシテ、農業災害保險、及ビ共濟制度調査會ナルモノヲ組織致シマシテ、此答申ニ基キ、又政府ノ調査ニ基キマシテ、先ヅ取敢ヘズ保險技術トシテ可能性ノアル調査ノ濟ンダモノヲ、此保險ノ事故ノ中ニ入レルト云フコトヲ考ヘマシテ、今ノ所政府ガ諸般ノ情勢、諸般ノ調査カラ綜合致シマシテ、只今マデ御説明申上ゲマシタヤウニ、水稻、麥類、桑ノソレノ災害狀況ノモノダケヲ選定致シマシテ、保險ノ對象ニ致シタノデアリマス、ソコデ政府ト致シマシテハ、是モ度々御説明申上ゲタノデアリマスガ、尙ホ此調査會ナルモノハ其儘繼續致シマシテ、最後ニ農耕地ノ災害ニ對シテモ、如何ニスベキカト云フ所マデ調査研究ヲ遂ゲヨウトシテ居ルノデアリマス、隨テ引續キ此調査會ノ機能ヲ發揮セシメマシテ、又政府モ積極的ニ此問題ニ立入りマシテ、一日モ早く保險技術ノ上カラ見マシテ、是ハ取入レルコトノ出來ルモノダト云フ風ナ研究ヲ遂ゲタイト存ジテ居リマス、ソコデ御説ニアリマシタ冷害ノ問題ニ致シマシテモ、又稻熱病ノ問題ニ致シマシテモ、其他ノ問題ニ致シマシテモ、確ニ其爲ニ農民ガ非常ナ

苦シミヲ受ケルト云フコトハ、一日モ早ク之ヲ除去シテヤリタイ、救済シテヤリタイト云フコトヲ、毛頭忘レテ居ルノデハアリマセヌノデ、未ダ保險技術ノ上ニ於テ成案ヲ得マセヌカラ、農民ノ重大ナル被害ヲ受ケマスル冷害、稻熱病ト云フノハ共濟制度ノ中ニ入レマシテ、サウシテ暫ク共濟制度ノ立前カラ之ヲ救済シ、併セテ調査會其他ノ政府ハ積極的調査研究ニ依リマシテ、一日モ早く保險技術ノ對象トシテ、可能ナリト云フ結論ヲ得タイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ其數字上ノ基礎ノ上ニ於キマシテ、保險ノ事故ノ對象トシテ採入レルコトガ出來ルト云フコトガ決定致シマスレバ、直チニ保險事故ノ中ニ入レルコトニ咨カデナイノデアリマス、隨ヒマシテ、今政府ガ考ヘテ居リマスル點ハ、今政府ガ直チニ保險事故トシテ、保險技術ノ上ニ於テ實行シ得ラル、ト云フ、數字的基础ノ上ニ立ッタ保險事故ハ、今マデ御説明今マデ申上ゲタ三種類ノミデアリマス、併ナガラ此三種類ガ完全ヲ期シタト政府ハ考ヘテ居ルノデヤアリマセヌ、先程カラ申上ゲテ居ルヤウニ、一日モ早く數字的基础ヲ得マシテ、ソコデ保險技術ノ上カラ見マシテ、保險事故トナリ得ルヤウニ極力進ミ

タイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○長野(長)委員 只今政務次官ノ御説明ニ依リマスルト、稻熱病、冷害ニ付テハ……

○村上委員長 長野君コチラハマダ御許シテ居ル積リデヤナイノデスガ、マダズット繼續ナサルノデスカ

○長野(長)委員 私ハ委員長ト言ヘバ今迄大抵直グニ許シタ、ソレデ今度モ當然許サレタと思ッテ熱心ノ餘リ私ハ述ベテ居ツタ譯デアリマス、ソレデハ今迄ノモノヲ取消シテ新タニ委員長ノ御許ヲ願ヒマス

○村上委員長 ソレハ宜イノデスガ、御許スル前ニ私ハ一寸御尋シタカッタノデス

○長野(長)委員 餘リソシナコトハ問ハナイデ、私ハ簡單ニヤリマスカラ質問サセたら宜イデヤアリマセヌカ、サウ云フコトヲセラレルノハイケマセヌヨ

○村上委員長 ソレデハドウゾオヤリ下サイ

○長野(長)委員 故ラニソシナコトヲスルノデヤアリマセヌヨ……只今政務次官ノ御話ニ依リマスルト意外デアリマス、一體數字の基礎其他ノ研究ガ終レバ、稻熱病ト冷害ハ入レルト言フ、冷害ハ別デスカラ措キマシガ、數字の基礎ガ出來ルナラバ置クト言フ、言ヒ換ヘタナラバ稻熱病ハ如何ナル

被害ガアルカ、何々ト云フ數字のダト思ヒ

マスガ、サウ云フコトガ出來レバオヤリニナルト云フ御話デアッタと思フ、又保險技術ノ上ニ於テノ基礎ハ、其數字の問題ダト思フノデスガ、又只今安藤先生ヲ態、此處ニ御連レ申シテ、サウシテ私ト意見ノ對立スル結果ニナッタト言フ、私ハ對立デヤナイト思ヒマスガ、政務次官ハ對立ダト仰シヤル、サウシマス目目的ハ數字の調査ノ上ニ在ルガ、併ナガラ安藤博士ヲ呼シテ來テ説明ヲサレル御意思ハ、單ニ私ヘノ説明ヲ満足セシメル爲ニ安藤サンヲ御呼ビシタノカ、又私ノ要求シテ居ル根本基礎ノ解決ヲスル爲ニ安藤サンヲ御呼ビニナッタノカ、ドウモ了解ニ苦シムノデアリマス、恐ラク私ハ解決スル爲ニ御呼ビニナッタと思フノデアリマスル、是ニ於テ此間答ノ結果ヲ政治的ニ如何ニスルヤト云フ問題ガ、アナタガ御呼ビニナラレタ理由デアルト思フ、ソコデ對立ナラバ對立ノ儘デ云々ト云フコトガ出來ルカモ知レマセスケレドモ、問題ハ對立デヤナイ、詰リ只今アッサリト述べラレタヤウニ最モ重要ナ點ハ病ノ來ル時ノ天候ガドウデアルカ、藥ガ掛ケラレルカ掛ケラレヌカ、其效果ガアルカト云フ點マデ押詰ッテ居ル、ソコデ安藤サンノ方デハ、ソレニ付テノ調査ハ

別ニシテ居ナイ、マダ頭腦ニハナイ、斯ウ仰セラレテ居ル、所ガ事實ニ於テハヤハリ雨ガ多

イト云フヤウナコトガ非常ニ原因ダ、斯ウ言フ、サウスレバ、ソレハ年々アルモノデヤナイ、或年ヲ置イテアルモノダカラ、當然是ハ豫防ノ出來ナイモノデアル、サウ云フ時期ニ於テノミ起ル、天氣ガ好クテ藥ノ掛ケラレル時ニハ起ラヌ、藥ヲ掛ケラレナイ時ニ起ルト云フコトハ、是ハハッキリシタノデアリマス、デアリマスカラ政務次官トセラレマシテハ、モウ既ニ政治的ノ解決ハ付イテ居ル、宜シク稻熱病ハ此中ニ入レナケレバナラヌト云フ判斷ヲシテ然ルベキデアラウト思フガ、サウセラレナイデ、今度ハ反對ニ數字の基礎ガ云々ト言フ、サウ云フコトニナリマス、事實ハ斯ウナル、兎ニ角安藤サンヲ呼シテ來テ長野ニ説明ヲスレバ、長野ハ大抵承服スルダラウト、是ハ非常ニ惡質ノモノダト思ハレルケレドモ已ムヲ得ナイ、第二ニハ意見ノ扞格ヲ生ジタ、意見ガ扞格シタカラ仕方ガナイト、如何ニモ私ノ意見ガ故ラニ酸性カ「アルカリ」性ノヤウニ考ヘル、反對ノ性質ヲ持ッテ行ケバ中和シテ、其意見ガ零ニナルト云フヤウナ考デアッタ、斯ウ云フヤウニ見ナケレバナラヌ結論ニ相成ルト私ハ思フ、ソコデ高橋

サンニハ個人的ニハ私ハ極メテ敬意ヲ表シテ居ル、御互ヒ實際親シイ間柄デアリマスカラ、サウ云フアクドイコトヲナサレヌヤウニ、此際ハッキリ一ツ二人ノ質問應答ニ依ッテ、成程見方ニ依レバ理窟ガアルカラ、ソコデ能ク考ヘタ上ニ、俄ニヤルト云フコトモ出來ナイカラ、次ノ委員會ノ時迄ニ然ルベク答辯ヲショウト云フコトナラバ、アナタハ農業政治家トシテノ本職ヲ發揮スル、ソレヲ大臣トノ間ニ板挾ニナリ、苦シサノ餘リサウ云フコトヲサレルノハ、是ハ私ノ敬意ヲ表スル高橋サンデヤナイ、是ハドウゾアツサリト、今二人ノ意見ガ衝突シタト云フヤウナコトニ依ッテ、長野ヲ茲ニ牽制スルト云フヤウナ態度ニ出ラレザランコトヲ、切望スル者デアリマス

○高橋政府委員 ドウモ私ノ腑ニ落ちナイ點カラ、御非難ヲ受ケテ居リマスガ、此間ノ委員會ノ席上デハ、風水害ニ因ッテ起ル白葉病ト、稻熱病トノ區別如何ト云フコトデ、アナタカラ専門的ノ突込シダ御質問ガアツタ、ソコデ私ハ常識的ニ御答辯申上ゲタノデスケレドモ、アナタノ御満足ノ行クヤウナ其區別ガ申上ゲラレナカッタ、ソコデ専門家ノ意見ヲ申上ゲマシテ、アナタニ其區別ガハッキリ御分リニナルヤウニ御説明申上

デマセウ、斯ウ云フヤウニ申上ゲタ積リデ
アリマス、隨ヒマシテ其白葉枯病ト稻熱病
トノ區別ハ、政府側ト致シマシテハ十分御
説明ヲ申上ゲ、アナタニモ御納得行ッテヤウ
デアリマス、唯豫防ノ問題ニ付テ、一方ハ
豫防ガ出來ルモノト考ヘルト、場長ハハッキ
リ申サレル、アナタハ豫防ガ出來ナイト斯
ウ云フコトヲ申サレル、隨テソレハ意見ノ
相違デアリマス、ソコデ私が成程アナタノ
仰シヤルヤウニ稻熱病ヲヤリマス、斯ウ
申上ゲレバ、アナタハ御満足デアリマセウ
ガ、此保險ト云フモノハ御承知ノ通り、保
險技術デアリマシテ、保險業ト云フモノガ
將來何十年ノ後ニ於テ破産ヲスルト云フヤ
ウナ處ノアルモノハ、保險事故ノ中ニ入レ
ラレナイノデアリマス、即チ色々ノ數字的
基礎ノ上ニ立チマシテ、是ナラバ大丈夫、
其危險率ニ對シテ相當ノ裕リヲ付ケテ保險
料ト云フモノヲ納メル、其保險料ヲ積立テ
レバ破産セズニ保險組合ガ運行出來ルト云
フ數字的基礎ガナケレバ、保險事故ノ對象
ニスルコトガ出來ナイノデアリマス、ソコ
デ私が申上ゲマシタノハ、アナタノ御心配
ニナッテ居ル稻熱病ニシテモ、亦冷害ニ致シ
マシテモ、雪害ニシマシテモ、是ハ農民ニ
重大ナル關係ノアルモノダ、隨テ其研究ガ

遂ゲテナイカラト言ウテ拾遺ク譯ニイカナ
イカラ、研究ノ遂ゲラレル迄取敢ヘズ共濟
制度ノ下ニ之ヲ入レテ、サウシテ共濟制度
ニ依ッテ救済シヨウト云フコトニ考ヘテ居
リマス、斯ウ云フ風ニ御答シタノデアリマ
ス、ソコデ尙ホ先程ノ私ノ答辯ノ言葉ガ足
ラナカッタノデアリマスガ、冷害、雪害ト云
フモノガ、果シテ保險ノ事故ノ對象物ニナ
ルカナラヌカト云フコトニモ、私ハ疑問ヲ
持ッテ居リマス、隨テ或ハ冷害ト云フモノハ
保險事故ニ入ラナイト云フコトニナリマス
レバ、是ハ別途ニドウシテモ救済シナケレ
バナラヌ災害デアアル、斯ウ云フ風ニ私ハ考
ヘテ居ルノデアリマシテ、即チ言葉ヲ換ヘ
テ言ヒマスルト、今マデノ政府ガ調査研究
ヲ遂ゲマシタ結果ニ依リマスレバ、保險法
ニ定メテ保險事故ト爲シ得ル研究ノ遂ゲラ
レタモノハ、只今マデ御説明申上ゲタ三ツ
ノ種類ノ事故デアアル、斯ウ云フコトニナル
ノデアリマス、ソレ以外ノハマダ保險事故
ニ入レテ宜シイト云フ確信ガ付キマセヌカ
ラ入レマセヌ、斯ウ云フ風ナ結論ニナルノ
デアリマス、併ナガラ保險事故ニ入ラナイ
カラト云ウテ、農民ニ重大ナル關係ノアリ
マス冷害、雪害、稻熱病ト云フモノヲ、等
閑ニシテ居ルノデハアリマセヌノデ、是ハ

取敢ヘズ共濟ノ規定ノ中ニ置キマシテ之ヲ
救済シ、尙且ツ保險事故トシテ可能ナリヤ
否ヤヲ研究シ、可能ナラバ一日モ速カニ基
礎條件ヲ調整致シマシテ、保險事故ノ中ニ
入レルト云フコトヲ考ヘル、若モ不可能デ
アルト云フナラバ他ノ方策ニ依ッテ之ヲ救
済スルト云フ途ヲ樹テナケレバ相成ラヌト、
斯ウ云フ風ニ存ジテ居ル譯デアリマス

○長野(長)委員 此席ハ安藤博士ノ御説明
ヲ承リ、ソレニ對スル私ノ質問ヲ申上ゲル
ト云フコトガ、主ナル場面デアッタノデアリ
マス、隨ヒマシテ只今ノ政務次官ノ御説明
ハ、從前ノ速記録ト、政府委員ノ述べラレ
タ速記録トノ關聯モアリマスノデ、ソレト
比較對照ヲシテ、當然此次ノ委員會ニ於テ
質疑ヲ申述ベキデアルト思フノデアリマ
ス、故ニ私ハ茲ニ此關聯シテノ質問ヲ打切
ルコトニ致シマシテ、但シ御質問ハ次ノ機
會マデ留保スルト云フコトニ致シタイト思
フノデアリマス

○北委員 一言關聯シテ——熱心ナ長野委
員ノ御質問ニ對シマシテハ、私ハ深く敬意
ヲ表スル者デアリマスガ、此場合何ダカ横
槍ヲ入レルヤウデ、都合ガ悪いノデアリマ
スガ、委員會ノ今後ノ議事ノ進行ニモ關係
ガアルト思ヒマスカラ、一言質問サシテ載

キタイト思フノデアリマス、雨天連續ノ
場合ニ於キマシテハ、先程モ御話ガアリマ
シタヤウニ、豫防ガ非常ニ困難デアリマス、
ソレバカリデナク、此稻熱病ヲ豫防スルト
云フコトハ、農家ニ取リマシテハ、實際ハ
非常ニ難カシイ苦勞ノ多い仕事アルノデ
アリマス、デスカラ是ハ保險事故ノ中ニ入
レテ載キタイト云フ希望ニ付キシマデハ、
長野サント同様デアリマスガ、唯豫防ガ出
來ルカ出來ヌカ、可能カ不可能カト云フ問
題ダケニナリマス、實ハ私北海道ノ空知
郡デアリマスガ、約二萬五千町歩バカリノ
水田ノ稻熱病ノ防除ヲ、四五箇年連續シテ
ヤッテ來タ者デアリマシテ、是ハ豫防ガ出來
ルト云フコトヲ申上ゲナケレバナラスト思
フノデアリマス、議事ノ進行上間違ッタコト
ヲ基礎ニシテ居ッテハナラスト思ヒマス、ヤ
ハリ正直ナコトハ此際正直ニ申上ゲテ見タ
イト思フノデアリマス、防除ヲ致シマスニ
ハ、先程御話ガアリマシタヤウニ、病原菌
ヲ附近ニ置カナイヤウニト云フノデ、空知
管内デハ藁處分ト云フ一ツノ北海道廳令ヲ
出シマシテ、藁ノ處分ヲスッカリヤラシテ居
リマス、ソレカラ種粃ハ「ホルマリ」ノ
消毒ヲヤラシマス、ソレカラ「ボルドー」防
劑ヲ成育期間中ニ一回、若シ更ニ稻ノ狀況

ガ工合ガ悪いト致シマス、所謂止葉ニナツタ時ニ一回ソレヲヤッテ、先ヅ大體ニ於テ完全ニ防除シ遂ゲタト思ッテ居ルノデアリマス、ソシナヤウナ狀況デアリマシテ、豫防ガ可能カ可能ナイカト云フコトダケハ、是ハ多クノ疑問ヲ私ハ持タヌノデアリマス、併ナガラ農家ハ中々頑固ナモノデアリマシテ、アレダケデハ迎モ豫防出來ルモノデハナイ、今年ハ豫防ノオ蔭デ出來タノデハナクテ、天候ノオ蔭デ治ツタノダ、斯ウ信ジテ居ルノデアリマスガ、北海道ノ道廳デハ方針モアリマスシ、嚴重ニ數年厲行シテ居リマスガ、不思議ニモ出テ來ナイト云フ狀況デアリマス、此際議事ノ進行ニモナルト思ヒマスノデ、横槍ヲ入レルヤウド大變都合ガ悪いノデスケレドモ、一言私ノ方ノ狀況ヲ申上ゲテ、御參考ニ資シテ置キタイと思ヒマス

○加藤委員 之ニ關聯シマシテ御尋シタイト思ヒマス、只今長野委員ト安藤場長トノ間ニ頗ル有益ナ質問應答ヲ伺ヒマシテ、私共裨益スル所少カラザルコトヲ喜ブノデアリマスガ、序デニ安藤場長ニ一ツ御伺ヲ申上ゲタイト思ヒマス、ソレハ外デモアリマセスガ、肥料ニ加里性分ノ多イ少イト云フコトハ、稻作ノ強弱ニ非常ナ關係ヲ持ツト

同時ニ、又出來マシタル米ノ養分ニ、非常ナ影響ヲ持ッテ居ル、詰リ加里性分ガ多ケレバ、隨テ稻モ丈夫ニ出來ル譯デアル、又其米モ「ビタミン、エー・ビー・シー」ガ非常ニ多クナル、然ルニ近來硫酸「アンモニア」ヲ非常ニ使フ結果ガ、自然ニ加里性分ノ肥料ニ非常ニ缺乏ヲ來シテ、ドウモ滋養價值ノ乏シイ米ガ出來ル、又藁モ洵ニ弱イモノガ出來ル、斯ウ云フコトヲ私共所謂老農カラ聞カサレテ居ルノデアリマス、此事ハ洵ニ重要ナ問題ト思ヒマスノデ、本日ハ幸ヒ安藤場長ノ御臨席ガアリマスカラ、此事ニ付テノ御説明ヲ承リタイト思ヒマス

○安藤農事試驗場技師 ソレニ付テ申上ゲマス、元來日本デ從來ハ自給肥料ヲ多ク基ニシテ、今モ相當使ッテ居リマスガ、同時ニ油粕或ハ大豆粕ノヤウナ有機質肥料ヲ多ク使ッテ居ッタノデアリマス、殊ニ大豆粕ガ分量カラ言フト、販賣肥料デハ一番多イノデアリマスガ、是等ノ肥料及ビ自給肥料ノ堆肥厩肥カラシテ、加里要素ハ相當供給サレテ居ルノデアリマス、殊ニ藁類ヲ原料ニスル堆肥厩肥ニ付キマシテハ、加里分ガ相當アリマス、所ガ近來大豆粕類ノ需要ハ硫酸ニ置換ヘラレマシテ、一時ハ一億以上ノ大豆粕ガ、今日デハ其半分以下ニナッテ來テ居リ

マシテ、其ノ爲ニ有機質肥料カラ來ル加里ノ分量ガ減ッテ居ルコトハ事實デアリマス、隨テ硫酸加里デアルトカ或ハ鹽化加里ノ需要ガ近來殖エテ參ッテ居リマス、此加里ヲ多クスル爲ニハ、ヤハリ一面ニ於テ堆肥厩肥ノヤウナ自給肥料ヲ多ク作ル、又農家ノ庭ニ出來マス灰類ノ利用、是ハ以前ハ灰ヲ相當利用シタモノデアリマス、此灰類ノ利用ヲ圖ルコトガ極メテ大切デアリマシテ、反面ニ於テ大豆粕ガ減ルニ從ッテ硫酸加里、鹽化加里ガ輸入サレテ來テ居ルノデアリマス、是等ノモノモ段々利用ガ殖エテ來テ居ルノハ、ソレ等ノ關係ト、有機質肥料、殊ニ大豆粕肥料ガ減ッテ關係ガ、相當實際問題トシテ利イテ來テ居ルト、斯ウ思ッテ居リマス、現在ノ農家ト致シマシテハ自給肥料ヲ十分獎勵シテ、其利用ヲ圖ルコトガ極メテ大事デアリマス、殊ニ堆肥厩肥ニ於キマシテハ、其中ノ窒素成分ハ外ノ販賣肥料ノ如ク效目ガ早クハアリマセスガ、加里成分ニナルト、先ヅ販賣肥料ノ加里ト同ジヤウニ早ク效クモノダト云フ風ニ考ヘテ宜イト、私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○加藤委員 今ノ藁ノ強弱ト、「ビタミン、エー・ビー・シー」ノ關係ヲ、御説明ヲ願ヒマス

○安藤農事試驗場技師 藁ノ強弱ハ是ハ加里肥料ノ多少ニ因リ、若シ足ラナイ場合ハ、ドウシテモ纖維ニ加里ガ相當效クトモ言ハレテ居ルノデアリマスカラ、藁ガ弱クナルト云フコトハアリ得ルトハ思フノデスガ、苦シ全然加里ヲヤライデ作ツタ場合、無加里ノ場合ニハ穂モ小サウゴザイマスシ、稻ノ背丈モ非常ニ伸ビナイト云フヤウナ事情モアリマス、隨テ其中ニ或ル護謨質ガアル場合、是ハ普通ノ護謨トハ違ヒマスケレドモ、木材ノ一部分ニモアルノデスガ、其生育ガ悪い爲ニ、ヤハリ稻ノ藁ノ何ト云ヒマスカ、質ガ脆クナルト云フ傾キガアルデヤナカラウカト思ヒマス、ソレカラ「ビタミン、ビー」トカ「シー」ニ付テハ、加里肥料ヲヤラナカッタラバ、ドウナルカト云フコトハ、私共ノ方ニハ只今成績ハ持ッテ居リマセスケレドモ、マア大シタ違ヒハナイデヤナイカ、出來タ米ニ付テハ、サウ違ヒガナイノデハナイカト思ヒマス

○加藤委員 加里肥料ト米ノ滋養分トノ關係ニハ、別ニ御試驗ノモノハナイノデスカ、若シアリマシタラバ、此席デ面倒デアリマスレバ、他日デモ宜シウゴザイマス、是ハ非常ニ米ノ滋養價值ト云フコトニ付テハ、重大ナ關係モアルヤウニ思ヒマス、是ハ私

ガ老農カラ聞カサレテ居ルコトヲ茲ニ其儘御尋スルノデスガ、之ニ付テ今一應御答辯願ヒタイト思ヒマス

○安藤農事試驗場技師 只今此處ニ數字モ

何モ材料ヲ持ッテ居リマセヌケレドモ、是ハ加里ヤツクモノトヤラスモノトハ多少品質モ違フト思ッテ居リマスガ、ソレ等ノ點ハ尙ホ能ク調ベテ、或ハ加藤サンノ方ヘ、分リマシトラ御送りシテモ宜イト思ヒマス

○長野(綱)委員 安藤博士ニ一寸御尋致シ

マスガ、私ハ今日午前中肥料ノ方ノ委員會デモ質問致シタノデスガ、今日ノヤウニ硫酸「アンモニア」使用ノ農耕ヲ續ケマスと云フト、將來土壤ノ變化ヲ來シハシナイカ、土壤ニ醗酵スル所ノ「バクテリア」ガ漸次消滅ヲ致シテ、サウシテ土壤ニ變化ヲ來シテ、作物ガ出來ナクナルヤウナ土地ガ出來ルデヤナイカト云フコトヲ、私ハ憂ヘテ居ルノデアリマス、殊ニ火山灰デアルトカ、或ハ赭土ノ如キ所ハ左程デモアリマセヌケレドモ、粘土質ノ土地ナドト云フモノハ硫酸ヲ多ク施シマスと云フト、金クソノ如クニナッテ容易ニ米ヲ作ルコトガ出來ナクナルノデスガ、其點ニ付キマシテハ、ドウ云フ御研究ヲサレテ居リマスカ、御教ヘヲ願ヒタイト思ヒマス

○安藤農事試驗場技師 硫酸ヲ多ク使フト

云フト、土地ガ惡クナリハシナイカト云フ御尋デアリマスガ、私共ノ前カラヤッテ居ル色々ノ實驗カラ考ヘマシテ、是ハ土壤ノ性質ニ依ッテ非常ニ違ヒガアルト云フコトハ、申上ゲテ宜イデヤナイカト思ヒマス、硫酸「アンモニア」ヲ使ヒマスと云フト、其中デ普通ニ考ヘラレルコトハ、「アンモニア」ガ作物ニ吸收サレテ、硫酸ガ殘ルノデ、非常ニ害ガアルト云フ風ニ考ヘラレル點モアルノデアリマスガ、是ハ水田ト畑トハ大分違フノデアリマス、水田ノ場合ニナリマスと云フト、硫酸「アンモニア」ヲ長ク使ヒマシテモ、サウ云フヤウナ嚴シイ惡イコトヲ見出サナイノデアリマス、ト云フノハ水田ニ於テハ灌溉ヲ致シマスカラ、灌溉水ノ中ニハ相當石炭トカ色々ナモノガ溶ケテ來テ居リマスカラ、硫酸トクツ付ケバ、ソコニ石膏ガ出來テ、無害ナモノニナリマス、又サウ云フモノガアル爲ニ水田ハ酸性ヨリモ「アルカリ」性ニナル傾キガアリマス、ソレデ「アルカリ」性力中性カト云フト、中性ニナルト云フコトハ極メテ少イノデアリマシテ、多少サウ云フ傾キハアリマスガ、酸性ニナル危險ハ殆ドナイノデアリマス、此「アルカリ」性ニナルト云フコトガ、又半面ニ於

テ磷酸肥料ガ畑ニハ效キニクイガ、水田ニハ效キ易イトカ、色々ナコトガアリマスガ、硫酸「アンモニア」ヲ水田ニ使ッテ、其爲ニ害ヲ殘サナイト云フコトモ出來ルノデアリマス、又硫酸ハ或ル部分無論地下深く溶ケ易イモノガアリマシテ、一部分ハ地中深く逃ゲテ行キマスカラ、ソコニサウ殘ラナイ、唯畑ノ場合ニ於キマシテハ、土壤ニ依リマスト「アンモニア」ガ吸收サレテ硫酸ガ殘ル、其硫酸ヲ中和スルヤウナ鹽類カ何カ、サウ云フモノガナイ場合ニハ、動モスルト畑ガ酸性化シテ、作物ノ出來ガ惡クナルコトモアリマス、自分ノ經驗シマシタ最モ著シイ例ハ、今日カラ見マス三十年前デアリマスケレドモ、徳島縣ノ葉藍ノ栽培ガ盛ンデ、藍葉ニ夏、硫酸「アンモニア」ヲヤリマシテ、其儘秋、麥ヲ時キマシタ時ニ、麥ノ發育ガ非常ニ惡イト云フ事實ヲ聞カサレマシテ、實際調べテ見マスと、其通りデアル、是ガ原因ハ今ノ葉藍ニ硫酸「アンモニア」ノ中ノ「アンモニア」ガ吸收サレテ、硫酸ガ殘ツタ、サウシテ酸性ヲ呈シタ爲ニ、殊ニ麥ハ酸性ニ弱イノデ非常ニ發育ガ惡クナッタ、併シ斯ウ云フ現象ハ屢アルノデアリマシテ、容易ニ直スコトガ出來ルノデアリマス、即チ葉藍ニヤリマス時分ニ、或ハ麥作ノ場合

デモ宜イノデアリマスガ、ソレニ或ル程度ノ石灰ヲ使用シマスレバ、其中ノ硫酸ガ石灰ト混合シテ所謂石膏ニナル、是ハ中性ニナリマスカラ、今ノ酸性ハ容易ニ除却スルコトガ出來ルヤウニナル、吉野川ノ沿岸ノ葉藍ノ栽培地ハ、ソレニ依ッテ硫酸モ使ヒ、後ノ麥作モ普通ニ正常ナ發育ヲシ、收穫ヲ得タト云フ事實ガアリマス、土壤ノ性質ニ依ッテ硫酸ヲ使フ場合ニハ多少ノ石灰ヲ使フコトヲ隨伴セシムル場合ガ、土壤ニ依ッテハ相當アルト思ヒマスケレドモ、ソレ等ノモノニ付テハ、サウ云フ方法ニ依ッテ行ケバ宜イノデアリマシテ、今日デハ土壤ノ酸性ナドノ調査モ、殆ド全國的ニ行渡ッテ居リマス、又今各府縣ニヤッテ居リマス施肥標準調査ニ依ッテモ、ヤハリソレ等ノ點ヲ考慮シテヤッテ居リマス、今御話ノ硫酸「アンモニア」ガ多少ソコニ害ガアルノデハナイカト云フコトハ、石灰ヲ使フコトガ、ソレヲ直シテ行ク一ツノ方法デアラウト思フノデアリマス、又特別ノ場合ニ付キマシテハ、是ハ其土ヲ見ナケレバ、或ル特定ノ場合ハドウダト云フコトハ申上ゲラレマセヌケレドモ、大體トシテハサウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○村上委員長 是デ今日ノ農業保險法案ニ關スル質疑ハ終了致シマシタ、直チニ臨時

農村負債處理法案ノ審議ニ移リタイト思ヒマス、之ヲ議題ニ致シマス——高橋政府委員

○高橋政府委員 臨時農村負債處理法案ノ提出理由ニ付キマシテハ、大體本會議ニ於テ申上ゲタ通りデアリマシテ、其趣旨ハ、今次支那事變ニ際シマシテ、多數ノ應召者ヲ出シ、而モ戦死傷者モ少クナイ農山漁村ニ於テ、戦死傷者遺家族ニ付、其經濟更生ヲ圖ル爲ニ、大體從來ノ農村負債整理制度ノ例ニ準ジツ、尙ホ相當擴充セル新制度ニ依リ、此際急速ニ負債整理ヲ爲サシムルノ途ヲ開カントスルコトニアルノデアリマスガ、以下本法案ノ内容ノ主ナルモノニ付、二三御説明ヲ申上ゲタイト存ジマス

第一點ハ、未ダ負債整理組合ノ設立ヲ見ルニ至ラナイ農山漁村ニ於キマシテモ、戦死傷者遺家族ノ負債整理ヲ爲サシムル途ヲ開クコトトシタノデアリマス、即チ從來ノ制度ニ依リマス、負債整理ヲ致シマス爲ニハ、原則トシテ負債整理組合ヲ設立シナケレバナラナイノデアリマスガ、負債整理組合設立ノ實情ニ徴シマシテ、全國ノ農山漁村ニ普ク組合ノ設立ヲ見ルニ至リマス迄ニハ、尙ホ若干ノ時日ヲ要スルモノト認メラレマスルシ、一方、戦死傷者遺家族ノ負

債整理ニ付キマシテハ、急速ニ之ヲ行フ必要ガアリマスノデ、是等戦死傷者遺家族ノ負債整理ニ付テハ、必ズシモ負債整理組合ノ設立ヲ要シナイコトト致シタノデアリマス

第二點ハ、道府縣ニ臨時負債處理委員會ヲ設立シ、從來ノ制度ニ依ル市町村負債整理委員會ニ代ツテ、債務ノ條件緩和ノ斡旋等ヲ爲サシムルコトトシタノデアリマス、即チ之ニ付キマシテモ、負債整理組合ト同様、市町村負債整理委員會設置ノ現況ニ鑑ミマシテ、全國ニ其設置ノ普及ヲ見ル迄ニハ、尙ホ若干ノ時日ト經費ヲ要スルモノト認メラレマスノデ、道府縣單位ノ負債處理委員會ヲ設クルコトトシ、更ニ此ノ委員會ヲシテ其機能ヲ十分發揮セシムル爲メ、若干ノ權能ヲ與フルコトト致シタノデアリマス

第三點ハ、本法ニ依リマシテ負債處理計畫ノ樹立セラレマシタ戦死傷者遺家族ニ對シテハ、市町村、産業組合中央金庫及ビ融資銀行ヨリ、負債處理ノ爲メ必要ナル資金ノ特別融通ヲ爲サシムルコトト致シタノデアリマスガ、其融通ニ依ツテ市町村、産業組合中央金庫、及ビ融資銀行ノ受ケタル損失ニ付キマシテハ、之ニ對シ損失補償ヲ致ス

コトトシタノデアリマス、而シテ其補償ノ割合ヲ、從來ノ制度ニ依ル割合ノソレト二倍ニ引上グルコトト致シタノデアリマシガ、是ハ從來ノ制度ニ於キマシテモ、農山漁村ノ實情ニ鑑ミ、相當ノ損失補償ヲ爲シ來ツタノデアリマスガ、戦死傷者遺家族ハ、一層經濟的彈力ニ乏シイモノト認メラレマスノデ、其補償ノ割合ヲ引上ゲ、以テ資金融通ノ圓滑ヲ圖ルコトト致シタノデアリマス以上、本法案ニ依ル負債處理制度ノ、從來ノ制度ト異ナル主ナル點ニ付、御説明申上ゲタノデアリマス、何卒御審議ノ上、速ニ御可決アランコトヲ希望致ス次第デアリマス

○村上委員長 暫時休憩致シマス

午後三時三十四分休憩

午後三時三十九分開議

○村上委員長 休憩前ニ引續イテ開會致シマス、本日ハ都合ニ依ツテ是ニテ散會ヲ致シタイト思ヒマス、明日委員會ハ開ク積リデアリマスガ、時間ト共ニ其確定シタコトハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後三時四十分散會

昭和十三年三月二十日印刷

昭和十三年三月二十一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局